

デジタルとくしま推進プラン
～とくしま版DXの実現に向けて～

「デジタルとくしま推進プラン」進捗報告



進捗評価基準について

• 進捗評価方法

– 進捗の傾向を把握するため、K P I や取組内容の状況に応じて、以下の区分に分類

- ◎ (計画を上回るペースで推移)
- ○ (計画通りに推移)
- △ (計画未達又は停滞)
- – (未評価：＜事業計画中止等による＞)

• 案件種別 (内容評価)

– 「リーディング」

- 他の自治体と比べて、統計数字等により徳島県がリードしていると認定できる取組

– 「オンリーワン」

- 徳島県で唯一実施している誇れる取組

– 「ナンバーワン」

- 他の自治体と比べて、統計数字等により徳島県がナンバーワンであると認定できる取組

プランの体系図

基本理念

デジタルで全てがつながる社会への転換を図り、「Society 5.0」を通じて安全安心で豊かさを実感できる地域を創造する。

目指すべき社会

安全安心な暮らしを
しなやかに守り抜く社会

全ての人に優しく、
スマートで持続可能な
社会

新たな価値が創造され、
豊かさを実感できる社会

人材を育み、誰もが輝く
自己実現可能な社会

分野横断プロジェクト

基本目標（分野）

(1)防災力の向上・着実なインフラ整備

(2)医療・福祉体制の充実

(3)利便性の高い行政サービスの実施

(4)スマートな環境対策

(5)モビリティの向上

(6)人と企業が集まる地域づくり

(7)魅力ある農林水産業の実現

(8)観光誘客による地域経済の活性化

(9)教育・人材育成

(10)デジタルインクルージョン

(1)、(5)、(8)、(9)

(3)、(5)

(2)、(3)、(7)、(9)

各プロジェクト名

①災害情報の共有推進プロジェクト

②医療情報の共有推進プロジェクト

③行政サービスの向上プロジェクト

④マイナンバーカード利活用プロジェクト

⑤スマート自治体推進プロジェクト

⑥グリーン社会推進プロジェクト

⑦とくしまサテライトオフィスプロジェクト

⑧とくしまクリエイティブプロジェクト

⑨テレワーク推進プロジェクト

⑩スマート農林水産業プロジェクト

⑪デジタル技術を活用した学校教育プロジェクト

⑫デジタル人材育成プロジェクト

⑬デジタルデバイド対策プロジェクト

⑭Society5.0実装プロジェクト

⑮データ利活用推進プロジェクト

⑯ローカル5Gプロジェクト

各プロジェクトの進捗評価について(1)

目指すべき社会：「安全安心な暮らしをしなやかに守り抜く社会」

➤ 防災力の向上・着実なインフラ整備

プロジェクト名	R6評価	KGI	CSF	KPI	R6の取組	案件種別（該当理由）
①災害情報の共有推進プロジェクト	◎	<ul style="list-style-type: none"> すだちくんメール及びLINEの登録者数（累計） 	<ul style="list-style-type: none"> 災害関連情報の共有・活用の推進 県民に対して災害関連情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時情報共有システムの活用による情報共有の推進 市町村によるJアラートの定期的な情報伝達訓練の実施(回)/年等 	<ul style="list-style-type: none"> 防災システムの保守運用 徳島県無料公衆無線LANサービス「Tokushima Free Wi-Fi」の民間サービスへの移行及び設置施設の拡充等 	<ul style="list-style-type: none"> オンリーワン <p>（防災分野だけでなく医療、保健、福祉などをカバーするGIS災害情報共有基盤がある。）</p>

➤ 医療・福祉体制の充実

プロジェクト名	R6評価	KGI	CSF	KPI	R6の取組	案件種別（該当理由）
②医療情報の共有推進プロジェクト	○	<ul style="list-style-type: none"> 阿波あいネットの利用施設数 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的・効率的な医療サービスの展開 情報セキュリティの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 阿波あいネットの参加同意書取得件数 遠隔画像診断による遠隔読影件数 阿波あいネットのセキュリティ強化（関係省庁ガイドラインへの対応） 	<ul style="list-style-type: none"> 阿波あいネット双方向連携施設の拡充 阿波あいネット新規参加施設の募集 画像連携システムの継続的な提供等 	<ul style="list-style-type: none"> リーディング <p>（地域完結型の医療提供体制の構築に向けて、過疎地にある医療機関等が協力し、情報ネットワークを使用した、病病連携・病診連携のあり方にチャレンジしているものである。）</p>

各プロジェクトの進捗評価について(2)

目指すべき社会：「全ての人に優しく、スマートで持続可能な社会（SDGsの実現）」

▶ 利便性の高い行政サービスの実施

プロジェクト名	R6評価	KGI	CSF	KPI	R6の取組	案件種別（該当理由）
③行政サービスの向上プロジェクト	○	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき県の事務のオンライン化率 	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続のオンライン化 情報発信の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 電子申請システム利用件数 LINEを活用した消費者トラブル相談事業の友だち登録数 等	<ul style="list-style-type: none"> 物品の調達等に係る電子入札システムの展開 LINEを活用した「とくしま消費者トラブル相談」の実施 等	-
④マイナンバーカード利活用プロジェクト	○	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカード交付率 	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードの取得促進 	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設等での申請手続サポート実施回数 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設等におけるマイナンバーカード出張申請受付・サポート事業 	-
⑤スマート自治体推進プロジェクト	◎	<ul style="list-style-type: none"> 公文書の電子化率（電子決裁システム利用率） 	<ul style="list-style-type: none"> 最新デジタル技術の活用拡大 行政運営のデジタル化の促進 デジタル行政を支える基盤整備や人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> AI技術活用事業数（累計） 電子化した職員の諸手当認定手続数(累計) ユーザーエクスペリエンス(UX)評価体制の構築 等	<ul style="list-style-type: none"> RPAの利用促進 県万代庁舎無線LAN環境の整備 扶養親族（異動）届の届出と認定の電子化 等	-

各プロジェクトの進捗評価について(3)

➤ スマートな環境対策

プロジェクト名	R6評価	KGI	CSF	KPI	R6の取組	案件種別(該当理由)
⑥グリーン社会推進プロジェクト	◎	<ul style="list-style-type: none"> 2030年度温室効果ガス排出50%削減(2013年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> 民生部門の消費エネルギーの削減 自然エネルギーの導入促進 	<ul style="list-style-type: none"> ZEHの啓発活動の実施数(累計) 自立・分散型電源導入支援事業数(累計) 	<ul style="list-style-type: none"> ZEV導入加速化事業 卒FIT対応・蓄電池導入促進事業 PPA等による自家消費型太陽光発電導入促進事業等 	<ul style="list-style-type: none"> リーディング <p>2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする脱炭素社会・カーボンニュートラルの実現といった「グリーン社会」の実現は、政策全体の最適化や地域課題解決の加速化など、「地方創生」の取組みの更なる充実・深化に資するものである。</p>

目指すべき社会：「新たな価値が創造され、豊かさを実感できる社会」

➤ 人と企業が集まる地域づくり

プロジェクト名	R6評価	KGI	CSF	KPI	R6の取組	案件種別(該当理由)
⑦とくしまサテライトオフィスプロジェクト	○	<ul style="list-style-type: none"> サテライトオフィス進出企業数 	<ul style="list-style-type: none"> サテライトオフィス進出企業の誘致・定着 	<ul style="list-style-type: none"> サテライトオフィス新規進出企業数/年 サテライトオフィス進出企業が参加する誘致・交流イベントの開催数/年 	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題解決共創推進事業 サテライトオフィス誘致・深化等 	<ul style="list-style-type: none"> リーディング <p>澄んだ空気や、美しい景観などの「癒やしの空間」と、都会より快適な「高速のインターネット通信」が見事に共存する優れた環境で、都会と同じ業務が行えるばかりか、想像の中にあった、日本の原風景が残る五感を刺激する魅力的な環境に想像力をかき立てられ、新しいアイデアが生まれる。また、仕事以外の時間にはサーフィンや農業など趣味の時間を満喫でき、心の癒やしや心身の心地よいバランスを全身で感じることで仕事と生活に力がみなぎるなど、都会では決して得られない新しい働き方の魅力を発信している。</p>

各プロジェクトの進捗評価について(4)

プロジェクト名	R6評価	KGI	CSF	KPI	R6の取組	案件種別(該当理由)
⑧とくしまクリエイティブプロジェクト	◎	<ul style="list-style-type: none"> ■ クリエイティブ関連企業数(累計) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報関連産業の集積 ■ 4K・VR等映像先進地徳島の発信 ■ 持続可能な発展に向けた人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4K・VR関連企業(者)数(累計) ■ 3D・VRショールームでの展示・イベント実施件数 等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「徳島アーカイブス」「3D・VRショールーム」の運営・活用 ■ 「とくしま経営塾『長久館』事業」の実施 等	-
⑨テレワーク推進プロジェクト	◎	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県の支援を受け、県内でテレワークを導入した事業所数(トライアル実施含む)(累計) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ テレワーク導入・定着に関する県内企業への個別支援 ■ テレワーク普及の為の人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■ テレワークに関する相談対応等件数/年 ■ テレワーカー及びテレワークコーディネーター養成数/年 	<ul style="list-style-type: none"> ■ テレワークセンター徳島の運営 ■ とくしまテレワーク講座 ■ 「徳島県働き方改革アップデート・レポート」の作成 等	-

➤ 魅力ある農林水産業の実現

プロジェクト名	R6評価	KGI	CSF	KPI	R6の取組	案件種別(該当理由)
⑩スマート農林水産業プロジェクト	◎	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農林水産業におけるスマート化技術導入経営体数 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 5GやIoT、ビッグデータ、AI、ロボット等のデジタル技術を活用した、スマート技術の研究開発・現場実装の推進 ■ スマート技術を駆使する人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新技術の開発に向けた県と大学・企業との共同研究数(累計) ■ 施設キュウリ栽培における新規就農者数(累計) 等	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマート技術の研究開発・現場実装の推進 ■ スマート技術を駆使できる人材の育成 ■ 農業分野における「ローカル5G」の活用 等	-

各プロジェクトの進捗評価について(5)

目指すべき社会：「人材を育み、誰もが輝く自己実現可能な社会」

➤ 教育・人材育成

プロジェクト名	R 6 評価	K G I	C S F	K P I	R 6 の取組	案件種別 (該当理由)
⑪ デジタル技術を活用した学校教育プロジェクト	◎	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板や1人1台端末の県内公立学校（特別支援学校含む）における活用事例数（累計） ＜GIGAスクール構想の実装＞ 	<ul style="list-style-type: none"> 教員のICT活用指導力の向上 1人1台端末等のICTを活用した授業等の実践 「いつでも」、「誰でも」、学びを止めることのない環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 県内公立学校におけるGIGAスクール構想に関する研修の実施率 県立高校でのAR・VR等デジタルコンテンツ授業実施回数（累計） 等	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクールサポート体制の充実 教育データ利活用の研究 先端技術を活用した新たな教育モデルの構築 等	-
⑫ デジタル人材育成プロジェクト	—	<ul style="list-style-type: none"> デジタルとくしま大賞の応募件数／年 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル専門人材の育成 次世代のデジタル人材育成 行政組織のデジタル人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> IoT・ビッグデータ・AIに対応した委託訓練の技能習得者数 プログラミング教育出前授業の実施 等	<ul style="list-style-type: none"> デジタル専門人材育成に資する職業訓練 次世代のデジタル人材育成に資する講座 等	-

➤ デジタルインクルージョン

プロジェクト名	R 6 評価	K G I	C S F	K P I	R 6 の取組	案件種別 (該当理由)
⑬ デジタルデバイド対策プロジェクト	○	<ul style="list-style-type: none"> インターネット利用率 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もがデジタル技術について学べる環境の整備 誰もが情報による恩恵を享受できる環境の整備 誰もがネットに接続可能な環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 「とくしまデジタル支援員」が講師を務めるスマホ体験教室の参加者数（累計） 県が整備・補助した無料公衆無線LANアクセスポイント数 等	<ul style="list-style-type: none"> 「デジタル支援員」を育成、育成した支援員を活用したスマホ体験教室の開催 プログラミングの出前授業 等	-

各プロジェクトの進捗評価について(6)

分野横断プロジェクト

プロジェクト名	R6評価	KGI	CSF	KPI	R6の取組	案件種別(該当理由)
⑭ Society 5.0実装プロジェクト	◎	<ul style="list-style-type: none"> ■ 未来技術の活用事例数(累計) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域への未来技術の浸透 ■ インフラ分野におけるデジタル技術の活用 ■ 持続可能な地域公共交通ネットワーク構築 ■ デジタル技術を活用した情報発信、観光コンテンツの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ とくしまIoTプラットフォーム活用事例数(累計) ■ i-Constructionに基づいた工事実施率 ■ 「新たな公共交通システム」の構築('20)実装 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 遠隔医療基盤の整備 ■ とくしまDX推進センターによるサポート機能の強化 ■ 産業DX推進セミナーの開催 <p style="text-align: right;">等</p>	-
⑮ データ利活用推進プロジェクト	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ オープンデータ数 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各分野におけるデータの収集 ■ EBPMの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ バス情報のオープンデータ化 ■ とくしまEBPM研究会によるエビデンス提供数(累計) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オープンデータの庁内及び市町村の掲載働きかけ ■ とくしまEBPM研究会の開催 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ オンリーワン <p>(県と地元企業が共同で開発したオープンデータポータルサイトのシステムをOSSとして全国へ展開し、埼玉県や神戸市など他の11の自治体において導入実績がある。)</p>
⑯ ローカル5Gプロジェクト	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ ローカル5Gの活用事例数 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ローカル5G環境の整備 ■ ローカル5G技術者の人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県域ローカル5G高速ネットワーク網の構築 ■ 5Gを活用した遠隔医療の推進 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 災害時医療DXに係る実証 ■ ローカル5G技術者の人材育成 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ リーディング <p>(自治体初の予備免許を取得し、ローカル5G環境を構築するとともに、課題解決の処方箋となる「徳島モデル」を構築、展開することにより、地方創生を推進している。)</p>

進捗評価と案件種別のプロジェクト数

	進捗評価	リーディング	オンリーワン	ナンバーワン
安全安心な暮らしを しなやかに守り抜く社会	◎(1) ○(1)	1	1	0
全ての人に優しく、 スマートで持続可能な社会	◎(2) ○(2)	1	0	0
新たな価値が創造され、 豊かさを実感できる社会	◎(3) ○(1)	1	0	0
人材を育み、誰もが輝く 自己実現可能な社会	◎(1) ○(1) —(1)	0	0	0
分野横断プロジェクト	◎(1) ○(2)	1	1	0
合計	◎(8) ○(7) —(1)	4	2	0

1 災害情報の共有推進プロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

安全安心な暮らし
をしなやかに守り
抜く社会

基本目標(分野)

防災力の向上・着
実なインフラ整備

重点戦略

平時からのシームレスな
災害情報の共有

プロジェクトの内容

- ① 県民への様々な情報伝達手段を用い、災害情報の迅速な提供を行う。
- ② 県民への災害情報提供に係る各サービスの利用拡大に努める。
- ③ 平時から各システムの安定的な運用及び県民からの要望を反映させた改修に努める。

県民

県民に、防災情報、避難に関する情報等を提供

○すだちくんメール(平時情報・災害時情報)

- ・安否確認サービス
- ・土砂災害警戒情報
- ・気象情報
- ・河川水位経過情報
- ・避難情報
- ・高潮特別警戒水位情報
- ・メルマガ配信

定期的な
安否確認訓練
の実施



○安心とくしまホームページ(平時情報・災害時情報)



- ・お知らせ
- ・啓発用情報マップ
- ・気象情報(注意報、警報、特別警報)
- ・避難情報
- ・災害用情報マップ
- ・土砂災害警戒情報

○総合地図提供システム(平時情報)



- ・防災減災マップ(避難所位置情報、津波浸水想定、液状化分布図など)
- ・Tokushima Free Wi-Fiマップ

○徳島県公式LINE(災害時情報)



- ・避難情報
- ・気象情報
- ・土砂災害警戒情報
- ・河川水位警戒情報
- ・高潮特別警戒水位情報



インターネット

情報提供

防災関係機関

防災関係機関で、被害情報、避難情報等を共有

○災害時情報共有システム

- ・配備体制、避難情報、避難所情報、被害情報
- ・広域災害医療情報
- ・雨量、河川、ダム情報
- ・雨雲レーダー
- ・ミッション、リソース情報



・平時・災害時の
情報入力
・各種訓練の
実施

※防災関係機関

- ・県、市町村、消防
- ・医療機関、福祉施設
- ・ライフライン事業者 など



クラウド



メディアやアプリによる情報提供

○アラート(メディア)



- ・避難情報
- ・避難所開設情報

○徳島県公式LINE

○リアルタイムカメラ(YouTube)



- ・河川監視カメラ
- ・道路監視カメラ

大規模災害における確実な情報提供による「安全安心」の確保

主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ KGI : すだちくんメール及び徳島県公式LINEの登録者数(累計)

担当課: 防災対策推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	48,000人	51,000人	54,000人	57,000人
実績	45,114人	47,192人	51,164人	88,599人	159,872人

※R4.3.11 徳島県公式LINE開設

□ CSF-1 : 災害関連情報の共有・活用の推進

➤ KPI-1 : 災害時情報共有システムの活用による情報共有の推進

担当課: 防災対策推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	利用者の意見を反映しながら推進(PDCA)				
実績	推進	推進	推進	推進	推進

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-2 : すだちくんSNSの個人グループ数(累計)

担当課:防災対策推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	1,500	1,550	1,600	1,650
実績	1,469	1,511	1,540	1,572	1,660

➤ KPI-3 : SNSやAI等を活用した災害時の情報収集・共有体制の検討回数

担当課:消防保安課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	5回	市町村の情報共有体制実用化を推進 →		
実績	2回	4回			

➤ KPI-4 : 防災拠点等における無料Wi-Fiのアクセスポイント数(累計)

担当課:情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	380	400	420	440
実績	369	413	445	480	496

主な指標及び工程(3)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-5 : 河川監視カメラ整備箇所数(累計)

担当課:河川整備課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	18箇所	28箇所	28箇所	28箇所
実績	—	18箇所	28箇所	28箇所	28箇所

※ YouTubeで一般公開中

➤ KPI-6 : 道路監視カメラ整備箇所数(累計)

担当課:道路整備課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	9箇所	16箇所	16箇所	16箇所
実績	—	8箇所	10箇所	10箇所	12箇所 ※

※令和6年度は、河川管理者や通信管理者との協議に時間を要したため、目標に達しなかったが、令和7年度に工事を行い、4箇所以上設置し、目標を達成する見込

主な指標及び工程(4)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-2 : 県民に対して災害関連情報の発信

➤ KPI-1 : 市町村によるJアラートの定期的な情報伝達訓練の実施(回)／年

担当課:防災対策推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	12回	12回	12回	12回
実績	12回	12回	12回	12回	12回

➤ KPI-2 : Lアラートの安定的な運用による災害情報の発信

担当課:防災対策推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	推 進			
実績	—	推進	推進	推進	推進

➤ KPI-3 : 徳島県LINE公式アカウントの開設

担当課:防災対策推進課
県民ふれあい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	開設	利用者からの意見を反映しながら運用(PDCA)		
実績	—	開設※	運用	運用	運用

※令和4年3月開設

課題とアクション

	課題	アクション
1	住民に対しより迅速で幅広い災害情報の提供、および市町村や防災関係機関とのシームレスな災害情報の共有	<ul style="list-style-type: none">• すだちくんメールや徳島県LINE公式アカウントの利用拡大• 市町村や防災関係機関とより一層の連携強化• システムの安定運用に努める。• 必要に応じてシステムの随時改修を実施• SNS等の新たな情報伝達手段に対応した災害情報の発信

令和6年度における取組内容(1)

■ 主な取組

➤ 防災システムの安定運用

- 災害時情報共有システムやすだちくんメール等、防災システムの保守運用
- 各防災システムを用いた訓練、試験の実施
- 徳島県LINE公式アカウントの情報発信力強化
- SNS(LINE、X、Facebook)による防災情報発信の充実強化
- 次期災害時情報共有システムに実装する機能等検討
(有識者による検討会の実施)

➤ 徳島県無料公衆無線LANサービス「Tokushima Free Wi-Fi」の民間サービスへの移行及び設置施設の拡充に取り組む

- Tokushima Free Wi-Fiのサービスを公設公営から民設民営へ移行
※令和3年度～令和6年度末で移行完了
- 引き続き、防災拠点等の施設への追加整備を実施

令和6年度における取組内容(2)

■ 主な取組

- 「道路監視カメラ」による災害関連情報の共有・活用の推進
 - 引き続き、アンダーパスや潜水橋の冠水状況を把握する「道路監視カメラ」の整備を推進するとともに、整備済カメラの安定運用を図る。
- 「河川監視カメラ」の利用サービス向上への取組
 - 引き続き、YouTubeにてLIVE映像の配信を行うとともに、より切迫感の伝わる映像の提供を図る。

■ 令和6年度予算 66,565千円

- | | |
|-----------------|----------|
| ➤ 防災システム運用費 | 49,165千円 |
| ➤ 公衆無線LAN民設移行事業 | 17,400千円 |



案件種別

「リーディング」案件として (該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として (該当あり 該当なし)

- 災害情報共有基盤の構築・運用
防災分野だけでなく医療、保健、福祉などをカバーするGIS災害情報共有基盤

「ナンバーワン」案件として (該当あり 該当なし)

参考情報URL等

- 徳島県河川整備課チャンネル(YouTube)

徳島県河川監視カメラ配信中

https://www.youtube.com/channel/UCXJ_ME7jWCW7CgrzKUqsD8g



- Tokushima Free Wi-Fi Navi HP

— <https://tokushima-wifi-navi.jp/>



2 医療情報の共有推進プロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

安全安心な暮らし
をしなやかに守り
抜く社会

基本目標(分野)

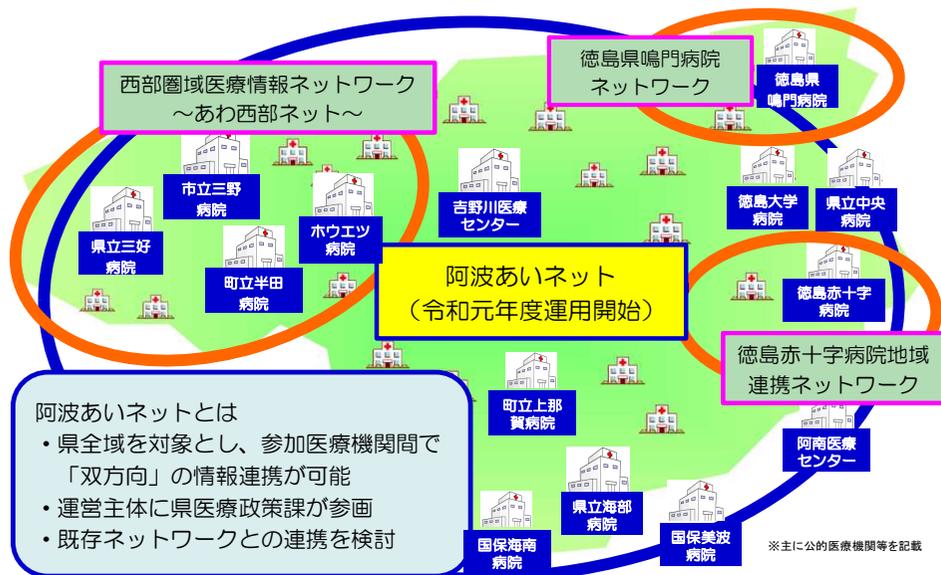
医療・福祉体制の
充実

重点戦略

誰もが安心して利用できる、
医療・福祉サービスの提供

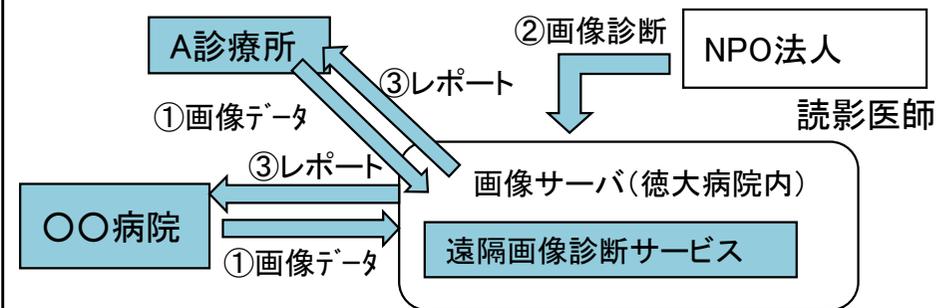
プロジェクトの内容

- ① 阿波あいネットの利用を促進する。
- ② 阿波あいネットに機能拡充や改修を実施し、利便性を向上させる。
- ③ 遠隔画像診断サービスを継続して提供する。



【遠隔画像診断サービス】

画像診断を依頼する医療機関が、画像データを画像サーバに送り、その画像をNPO法人に所属する読影医が診断し、レポートを医療機関に返すことができるシステム



取組内容

- 利用施設数増加の推進
- 県民からの参加同意取得の推進
- 機能の拡充・改修による利便性の向上

目的

- 複数医療機関での重複検査の抑制
- 新型コロナ対応（中核病院からの円滑な治療の引継ぎ）
- 災害時の診療情報のバックアップとしての利用

取組内容

- 遠隔画像診断サービスの継続的な提供

目的

- 画像診断の迅速化
- 読影医の負担軽減

主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ KGI : 阿波あいネットの利用施設数

担当課:医療政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	110施設	120施設	130施設	140施設
実績	97施設	97施設	113施設	119施設	124施設(見込)

□ CSF-1 : 効果的・効率的な医療サービスの展開

➤ KPI-1 : 阿波あいネットの参加同意書取得件数

担当課:医療政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	28,000件	29,000件	30,000件	31,000件
実績	26,840件	28,501件	29,596件	30,410件	31,020件(見込)

➤ KPI-2 : 遠隔画像診断による遠隔読影件数

担当課:医療政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	9,750件	10,000件	10,250件	10,500件
実績	10,848件	11,488件	16,183件	18,224件	17,313件(見込)

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-2 : 情報セキュリティの強化

➤ KPI-1 : 阿波あいネットのセキュリティ強化 (関係省庁ガイドラインへの対応)

担当課: 医療政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	国の動向を把握しながら運用			
実績	—	運用	—	—	—

※阿波あいネットでは直接サーバを管理していないため、サーバを運営する各システムベンダーが3省 (総務省、厚生労働省、経済産業省)の発出するガイドラインを遵守し、データセンターにて物理的に高いセキュリティを施している。

課題とアクション

	課題	アクション
1	阿波あいネットの参加施設数が伸び悩んでいる。	<p>県民に阿波あいネットの仕組みやメリットを理解してもらい、阿波あいネットの利用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 利用施設や郡市医師会等で説明会や操作研修を実施 ➤ システムの利用推進に向けた閲覧権限の拡充 ➤ 新規利用施設に接続用端末を貸与
2	県内医療機関において読影医が不足している。	<p>阿波あいネットに機能拡充や改修を実施し、利便性を向上する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ CT・MRI等の画像連携機能の構築と安定した運用の遂行(R3.6運用開始) <p>NPO法人において、遠隔画像診断サービスを継続して提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ R6年度は13医療機関が本サービスを活用しており、読影医不足の解消に繋がっている。

令和6年度における取組内容

■ 主な取組

➤ 阿波あいネット双方向連携施設の拡充

- ・ 県南地域における利用を推進するため、地域の中核病院である勝浦病院にサーバーを整備し、双方向連携の実現を図る。

➤ 阿波あいネット新規参加施設数の増加

- ・ 令和4年度から閲覧権限の拡大により利用可能となった「薬局施設」の参加促進を図る。

➤ 遠隔画像診断サービスの継続的な提供

- ・ 遠隔画像診断を必要とする医療機関へのサービスの提供を継続

■ 令和6年度予算 9,000千円

- 地域医療情報ネットワーク体制整備事業 9,000千円



案件種別

「リーディング」案件として 該当あり 該当なし

- 地域完結型の医療提供体制の構築に向けて、過疎地にある医療機関等が協力し、情報ネットワークを使用した、病病連携・病診連携のあり方にチャレンジしているものである。

「オンリーワン」案件として 該当あり 該当なし

「ナンバーワン」案件として 該当あり 該当なし

参考情報URL等

- 厚生労働省HP 医療分野の情報化の推進

- https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/johoka/index.html



- 阿波あいネットHP

- <https://awainet.com/>



3 行政サービスの向上プロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

全ての人に優しく、
スマートで持続可
能な社会

基本目標(分野)

利便性の高い行政
サービスの実施

重点戦略

デジタル技術を活用した、
行政サービスの向上

プロジェクトの内容

- ① 行政手続のオンライン化
- ② 情報発信の強化

KGI 地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき県の手続のオンライン化率 2024(R6)年度 100%

行政手続のオンライン化

- 電子申請システムの利用拡大
県と市町村が共同で運用している「電子申請届出システム」の利用を促進し、行政手続のオンライン化を拡大する。
- 物品の調達等に係る電子入札システムの構築・展開
物品の調達等に関する入札手続をオンライン上で行うことができるシステムを構築する。(R3)
- 一般歳入金のキャッシュレス決済の導入
これまでの納付書による金融機関での収納に加え、コンビニ収納、スマホ決済、ペイジー収納など多様な収納方法を導入し、県民の利便性向上を図る。(R4)
- 文化イベントにおける電子チケットの活用推進
県で実施する文化イベントについて、電子チケットの活用を進める。(導入済)



情報発信の強化

- LINEを活用した消費者トラブル相談事業の実施
消費者庁新未来創造戦略本部が本県を実証フィールドに展開したモデルプロジェクトの成果を踏まえ、LINEを活用した消費生活相談を実施する。(実施中)
- AI資金コンシェルジュによる被災者支援制度の提供
Web上で24時間相談対応する「資金コンシェルジュ」が提供する情報の充実を図ることで、災害時における関係機関と連携した資金安定供給につなげる。(事業はR5で終了)
- ソーシャルメディア連携による情報発信の体系化
県が発信するソーシャルメディアを分野ごとにまとめ、相互フォローや情報の連携を行うなど、情報発信の体系化を図る。(R3)
- 県庁デジタル情報発信担当者の設置
県の主要な所属に県庁デジタル情報発信担当者を設置し、デジタルによる情報発信の定期的なチェックや一般職員のフォローなどを行うことで、全庁的な情報発信技術を向上させる。(R3)



主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ KGI : 国が指定する地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき県の手続のオンライン化率

担当課: 行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	85%	90%	95%	100%※
実績	72%	89%	94%	94%	94%

※令和6年度以降、対象となる手続が増加する可能性あり

□ CSF-1 : 行政手続のオンライン化

➤ KPI-1 : 電子申請システム利用件数

担当課: 行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	20,000件	22,000件	23,000件	24,000件
実績	31,819件※	35,536件※	60,263件※	51,514件	42,700件

※コロナ関係手続(ワクチンに関するアンケートなど)により手続件数が増加

➤ KPI-2 : 公立施設等の予約システム一元化

担当課: 行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	構築・導入 構築・導入済※1	県民の声を聞きながら機能改善(PDCA)		
実績	—		推進※2	推進	推進

※1 令和3年度は徳島県及び徳島市のスポーツ施設についてUIを統一

※2 令和4年度は徳島県のスポーツ施設以外の施設についてスポーツ施設とシステムを統合

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-3 : 物品の調達等に係る電子入札システムの構築・展開

担当課: 管財課
行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	構築	事業者の声を聞きながら拡大(PDCA)		
実績	—	構築済	運用※	運用※	運用※

※管財課において、利用者登録、電子入札を実施

➤ KPI-4 : 文化イベントにおける電子チケットの活用推進

担当課: 文化振興課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	推進	利用者の利便性向上(PDCA)		
実績	—	推進	推進	推進	推進※

※令和6年度来場者453名

➤ KPI-5 : 一般歳入金のキャッシュレス決済の導入

担当課: 会計課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	構築	導入	県民の声を聞きながら機能改善(PDCA)	
実績	—	構築済	導入済	運用	運用

主な指標及び工程(3)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-6 : 警察行政手続のオンライン化のためのシステム構築

担当課:警察本部

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	県民の声を聞きながらシステムに反映(PDCA)			
実績	—	—	—	—	—※

※警察庁が構築中の共通システムによる行政手続のオンライン化を推進

□ CSF-2 : 情報発信の強化

➤ KPI-1 : 「LINE」を活用した消費生活相談の友だち登録数

担当課:消費者政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	300	360	420	480
実績	—	181	549	810	1,850

➤ KPI-2 : 県が管理するソーシャルメディア 利用登録者数(総数)※

担当課:県民ふれあい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	414,000	446,000	458,000	470,000
実績	411,468	446,289	477,554	468,405	691,064

※県が管理するソーシャルメディア:Twitter、Facebook、LINE、Instagram、YouTube、その他SNS、ブログ

主な指標及び工程(4)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-3 : ソーシャルメディア連携による情報発信の体系化

担当課: 県民ふれあい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	県民の声を聞きながら情報発信のあり方を改善(PDCA)		
実績	—	実施済	推進	推進	推進

➤ KPI-4 : 県庁デジタル情報発信担当者の設置

担当課: 県民ふれあい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	設置	県民の声を聞きながら情報発信のあり方を改善(PDCA)		
実績	—	設置済	推進	推進	推進

※令和5年度 28名設置

➤ KPI-5 : AI資金コンシェルジュによる被災者支援制度の提供 ※1

担当課: 会計課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	推進	提供する情報の充実(PDCA)		—
実績	—	推進	推進	推進	事業終了 ※2

※1 AI資金コンシェルジュ: 県ホームページ上で災害時の相談に24時間対応するAI・FAQシステム

※2 資金安定供給に限らず、県全体で進む被災者支援の中で、見直しを検討する。

課題とアクション

	課題	アクション
1	デジタル化・オンライン化がされていない県の行政サービス(手続)が残されている。	業務改善及びシステムの整理・整備を進める。
2	スマートフォンなど「キャッシュレス」による電子決済は、「非接触型」決済であることからコロナ禍において注目度が高まっており、コンビニ収納、スマホ決済などの多様な収納方法を導入する必要がある。	令和3年度に決済ネットワークとの連携機能追加などのシステム改修実施 (令和4年度運用開始)

令和6年度における取組内容(1)

■ 主な取組

- 物品の調達等に係る電子入札システムの展開
 - ・ 物品の調達等に係る電子入札システムを運用した。
- 一般歳入金のキャッシュレス決済の運用
 - ・ コンビニ収納、スマホ決済、ペイジー収納を運用した。
- 手数料等納付のキャッシュレス化の推進
 - ・ 県への申請手続きに伴う手数料等の納付方法について、現在運用中である「電子申請・届出システム」において手数料等のキャッシュレス納付が可能となる「電子納付機能」を追加した。
- LINEを活用した「とくしま消費者トラブル相談」の実施
 - ・ 徳島県消費者情報センターにおいて、LINEを活用した消費生活相談を実施するとともに、タイムリーな注意喚起情報をきめ細かく発信した。
- 電子チケットを活用した文化イベントの実施
第26回徳島県民文化祭主催事業
 - ・ 県内の文化団体等と連携し、県民が文化芸術に親しめる機会を創出した。
 - ・ 民間企業の電子チケットサービスを活用し、利用者の利便性を向上した。

令和6年度における取組内容(2)

- 令和6年度予算 30,861千円
 - 行政手続等オンライン化推進事業 4,838千円
 - 電子入札システム運用管理事業 5,525千円
 - キャッシュレス決済運用費 6,398千円
 - 電子申請システム電子納付機能拡張事業 1,000千円
 - 消費者を守る！消費生活センター機能強化事業 2,700千円
のうち「消費者トラブルSNS相談事業」
 - 徳島県民文化祭開催事業 10,400千円

令和6年度における取組内容(参考)

■ 電子チケットを活用した文化イベントの実施

第26回徳島県民文化祭メインプログラム

「トリオ・コンチェルト 源氏音楽物語」

- ・ 日時 10月27日(日) 14:00~16:00
- ・ 場所 あわぎんホール(県郷土文化会館)
- ・ 内容 徳島県を代表する作曲家 三木 稔氏が自身作曲のオペラ「源氏物語」を邦楽器と雅楽楽器、中国琵琶のために書き下ろした邦楽アンサンブル作品を特別編成楽団で上演
- ・ 来場者 453名
- ・ 民間企業の電子チケットサービスを活用

第26回 徳島県民文化祭
メインプログラム

トリオ・コンチェルト
源氏音楽物語

光源氏の成功と挫折、取り巻く女性の変を描いた三木稔作曲のオペラ「源氏物語」を、より繊細に華やかに、邦楽器・雅楽楽器と中国琵琶のために書き下ろした渾身の邦楽アンサンブル作品。歌唱が入る徳島だけの新演出による稀有な上演をご堪能あれ。

本邦初演

日時/令和6年 10月27日[日] 開場:13:30 開演:14:00 終演:16:00(予定) あわぎんホール1階 ホール (徳島県郷土文化会館)

入場料/一般 \$指定席:4,000円 A指定席:3,000円
※全席18歳以下の方は、あわぎんホールが主催する青少年観劇体験事業として無料です。
※当日18:00閉演(ただし、完売の場合は延期いたします)
※未成年者の入場は同伴者が必要です。

プレイガイド
■あわぎんホール(WEB・窓口・電話)
●電卓もしくはスマートフォンで予約された方は、企業のお客様の受付窓口にて、14時開演前にお受け取りいただけます。
●あわぎんホールへは、観劇体験事業として18歳以下の方も観劇いただけます。
●あわぎんホールは、観劇体験事業として、あわぎんホールに観劇体験券を販売しております。
●あわぎんホールは、観劇体験券を販売しております。
●あわぎんホールは、観劇体験券を販売しております。

あわぎんホール子供舞台芸術鑑賞体験支援事業
18歳以下のお子様無料ご招待!

無料鑑賞(18歳以下の子供):180名程度
半額料金鑑賞(同伴保護者):90名程度
詳しくは会場にてご確認ください。

公演に関するお問い合わせ
■あわぎんホール(徳島県郷土文化会館) Tel:088-422-8121 E-mail:info@awagin.com.jp
■徳島県民文化祭開催委員会事務局(文化振興課内) Tel:088-421-2552

主催:徳島県、徳島県民文化祭開催委員会、公益財団法人徳島県文化振興財団 助成:文化庁(観劇・音楽等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業)



案件種別

「リーディング」案件として

(該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として

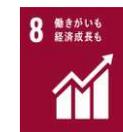
(該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

4 マイナンバーカード利活用プロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

全ての人に優しく、
スマートで持続可
能な社会

基本目標(分野)

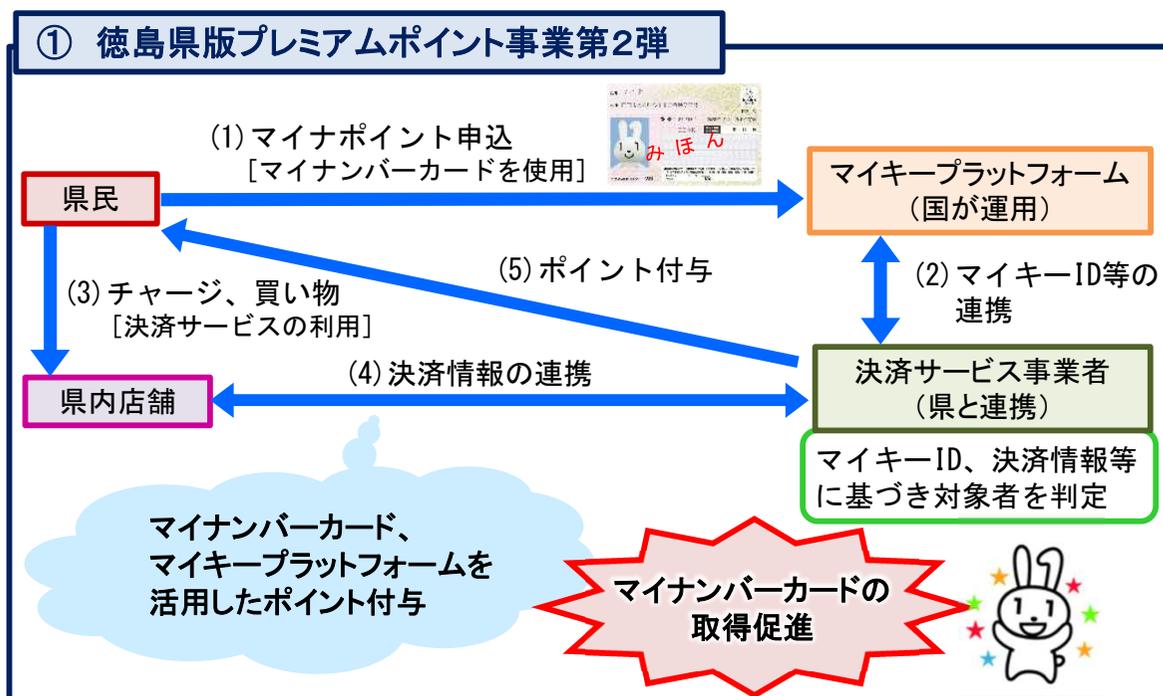
利便性の高い行政
サービスの実施

重点戦略

デジタル技術を活用した、
行政サービスの向上

プロジェクトの内容

- ① マイナンバーカードの取得を促進するため、国の「マイナポイント事業第2弾」に呼応し、カードの新規取得者等を対象に、県内の対象店舗におけるキャッシュレス決済サービスの利用に対して、県独自にポイントを付与する「徳島県版プレミアムポイント事業第2弾」を実施する。
- ② マイナンバーカードの普及を促進するため、市町村と連携し、県民に身近な商業施設等において、役場に行かなくても郵送でカードを受け取ることができる「出張申請受付」及び写真撮影等の申請手続きを支援する「出張申請サポート」を実施する。



主な指標及び工程

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ KGI : マイナンバーカード交付率 (%) ※

担当課: 情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	70%	100%	100%	100%
実績	30%	41.1%	66.3%	76.7%	84.1%

※徳島県内

➤ 参考 : マイナンバーカード申請率 ※

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績	38.3%	47.0%	80.2%	85.0%	93.7%

※徳島県内

□ CSF : マイナンバーカードの取得促進

➤ KPI : 商業施設等での申請手続サポート実施回数

担当課: 情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	200回	200回	100回	30回
実績	—	210回	307回	122回	34回

※令和6年度は福祉施設等での出張申請受付・サポート実施回数

課題とアクション

	課題	アクション
1	県民にマイナンバーカードの利便性を 実感してもらうこと。	市町村役場に出向くことが困難な福祉施設等入所者を 対象に、県と市町村が連携し、役場に行かなくても郵 送でカードを受け取ることができる「出張申請受付」及 び写真撮影等の申請手続を支援する「出張申請サ ポート」を実施し、マイナンバーカードの取得促進を図 るとともに、マイナ保険証の制度やメリット等について 丁寧に説明を行い、マイナ保険証への移行に係る不安 の払拭を図る。
2	マイナンバーカードの取得率をさらに 向上させること。	

令和6年度における取組

■ 主な取組

- 福祉施設等におけるマイナンバーカード出張申請受付・サポート事業
 - ・ 市町村役場に出向くことが困難な福祉施設等入所者を対象に、県と市町村が連携し、役場に行かなくても郵送でカードを受け取ることができる「出張申請受付」及び写真撮影等の申請手続を支援する「出張申請サポート」を実施

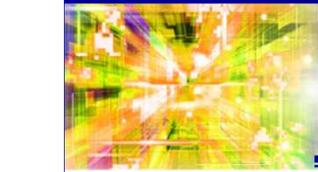
＜実績＞

実施回数：34回

申請受付・サポート件数：255件

■ 令和6年度6月補正予算

- 福祉施設等におけるマイナンバーカード出張申請受付・サポート事業 5,000千円



案件種別

「リーディング」案件として

(該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として

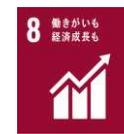
(該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

5 スマート自治体推進プロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

全ての人に優しく、
スマートで持続可
能な社会

基本目標(分野)

利便性の高い行政
サービスの実施

重点戦略

豊かな暮らしにつながる
行政のデジタル化

プロジェクトの内容

- ① 最新デジタル技術の活用拡大
- ② 行政運営のデジタル化の促進
- ③ デジタル行政を支える基盤整備や人材育成

KGI 公文書の電子化率（電子決裁システム利用率）2022(R4)年度 100%

最新デジタル技術の活用拡大



- AI・RPA技術の活用
AI (artificial intelligence) やRPA (Robotic Process Automation) など、最新デジタル技術の活用や継続的なBPRにより、業務の効率化と質の向上を図る。

デジタル行政を支える基盤整備や人材育成

- 情報システム・庁内ネットワークのセキュリティ強化
継続的にリスク分析を実施し、必要となる新しい技術を導入する。
- 市町村への自治体クラウドの導入
市町村における自治体クラウド（住民情報・税務・福祉などの自治体の情報システムやデータを外部のデータセンターにおいて管理・運用し、複数の自治体で共同利用する仕組み）の導入を支援する。
- 職員向けデジタル研修の受講促進
デジタル人材を育成するため、職員に対し、情報システムやセキュリティに関する研修、AI・RPAなどのデジタル技術に関する研修などの受講を促進し、ITパスポートなど各種資格の取得に繋げる。



行政運営のデジタル化の促進

- 電子決裁システムの利用促進
電子決裁・文書管理システムを活用した公文書の電子化を推進し、2022（令和4）年度までに100%電子化する。
- 職員の諸手当認定手続の電子化
職員の諸手当認定手続の電子化を進め、2024（令和6）年度までに100%電子化する。
- 遠隔立入調査の拡大
医薬品等製造販売業者や製造業者への立入調査の際、カメラ機能の付いた通信端末（タブレット等）を活用し、現場に行くことなく遠隔で事業者への聞き取りや現場確認を実施する。
- 県庁会議室へのWeb会議設備の常設
職員がいつでもWeb会議を行うことができるよう、県庁会議室にWeb会議設備を常設する。



県庁における業務のデジタル化を進める中で生じる課題等を県庁DXで解決！

主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ K G I : 公文書の電子化率 (電子決裁システム利用率)

担当課:行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	90%	100%	100%	100%
実績	87%	96%	100%	100%	100%

□ CSF-1 : 最新デジタル技術の活用拡大

➤ KPI-1 : AI技術活用事業数(累計)

担当課:行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	10件	11件	12件	13件
実績	10件	17件	17件	19件	20件※

※AI議事録作成(警察本部)

➤ KPI-2 : AI活用全庁FAQシステム登録数(累計)

担当課:県民ふれあい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	2,000件	3,000件	4,000件	5,000件
実績	1,800件	4,824件	5,523件	5,663件	5,090件

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-3 : RPAシナリオ数(累計)

担当課:行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	67	77	87	97
実績	67	72	82	92	102

□ CSF-2 : 行政運営のデジタル化の促進

➤ KPI-1 : Web会議設備を常設した県庁会議室数(累計)

担当課:行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	5	5	6	7
実績	1	5	5	5	14

➤ KPI-2 : テレワーク(在宅勤務等)利用環境の充実

担当課:人事課
行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	運用	より使いやすい利用環境へ改善(PDCA)		
実績	—	運用	運用	運用	運用

主な指標及び工程(3)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-3 : 電子化した職員の諸手当認定手続数(累計)

担当課:総務事務管理課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	1	2	3	4※
実績	—	1	2	3	4※

※4手続で100%

終了

➤ KPI-4 : 遠隔立入調査数

担当課:薬務課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	5	効果を検証しながら調査方法を改善(PDCA)	—	—
実績	—	7※1		事業終了※2	

※1 令和3年度全体立入調査数 33件

※2 効果的な分野については継続実施

□ CSF-3 : デジタル行政を支える基盤整備や人材育成

➤ KPI-1 : 自治体クラウド導入市町村数(累計)

担当課:情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	20	24	24	24
実績	17	20	20	20	20

主な指標及び工程(4)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-2 : 情報システム・庁内ネットワークのセキュリティ強化

担当課: 行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	運用	リスク分析を実施し、必要となる新しい技術を導入(PDCA)		
実績	—	運用	運用	運用	運用

➤ KPI-3 : ユーザーエクスペリエンス(UX)評価体制の構築及び改善

担当課: 行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	構築	県民や事業者の満足度向上で測定(PDCA)		
実績	—	構築済	推進	推進	推進

➤ KPI-4 : 県職員向けデジタル研修受講者数

担当課: 人事課
行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	660人	700人	750人	800人
実績	420人	784人	756人	817人	950人

主な指標及び工程(5)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-5 : 県庁エバンジェリスト制度の創設

担当課: 人事課
行政DX推進室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	検討・創設	職員のICTリテラシーを向上(PDCA)		
実績	—	検討・ 令和4年度創設予定	創設※	—	—

※3名設置

課題とアクション

	課題	アクション
1	行政運営のデジタル化を進めているが、職員の情報システム利用率や業務の効率化に改善の余地がある。	デジタル研修を充実させるとともに、職員の使い勝手を向上させるためのシステム改修を行う。
		AI導入や公文書の電子化をする際に、業務改善と同時に進めることで、業務の効率化を加速する。
2	行政運営のデジタル化を進めるにあたり、デジタル人材の育成が課題である。	職員に対し、専門的なデジタル研修の受講を推進することにより、デジタル人材を育成する。

令和6年度における取組内容(1)

■ 主な取組

➤ RPAの利用促進

- 職員に対するシナリオ作成研修の実施、シナリオ作成のサポート及びシナリオの委託作成を行った。

➤ 県万代庁舎無線LAN環境の整備

- 万代庁舎(議会棟含む)の執務室及び会議室にWi-Fi等を整備し、行政事務用端末の利用環境の整備に取り組み、ペーパーレス化や職員の働き方改革を推進した。

➤ 扶養親族(異動)届の届出と認定の電子化

- 総務事務管理課集約対象所属における扶養親族(異動)届の提出と認定の電子化に取り組んだ。

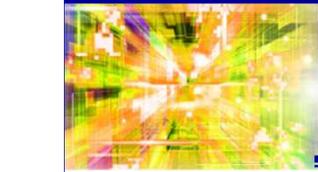
➤ Web会議設備を常設した県庁会議室数(累計)

- Web会議に必要な各種備品を設置した会議室を5室から14室に増やし、Web会議を活用した働き方を促進した。

令和6年度における取組内容(2)

■ 令和6年度予算 23,284千円

- R P A環境拡充事業 16,972千円
- 情報システム・ネットワークセキュリティ対策事業 4,162千円
- 行政情報化推進費 1,800千円
- デジタル関係研修経費 350千円



案件種別

「リーディング」案件として

(該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

6 グリーン社会推進プロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

全ての人に優しく、
スマートで持続可
能な社会

基本目標(分野)

スマートな環境
対策

重点戦略

環境に優しい循環型社会の
実現

プロジェクトの内容

- ① 県民総活躍による取組
- ② 自然・水素エネルギーの導入促進

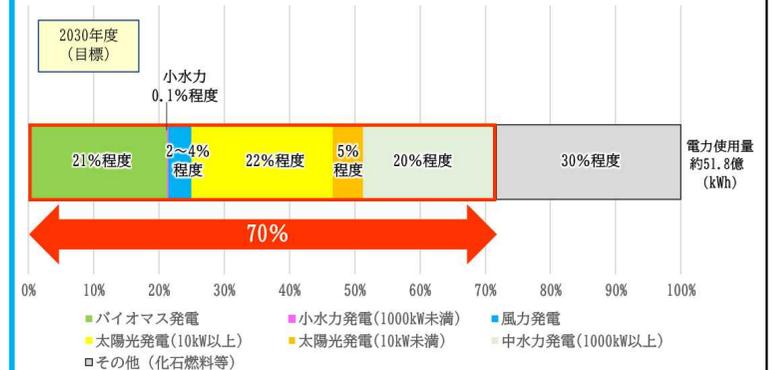
グリーン社会の実現に向けて

県民総活躍による取組み

- ◇ 気候変動対策「3本の矢」
 - ・「すなだちくん未来の地球条例」
全国初・脱炭素社会の実現を明記
 - ・緩和策 温室効果ガスの排出抑制
 - ・エンカルの県民生活の普及
 - ・廃棄物の発生抑制等
 - ・適応策 気候変動の影響への適用
 - ・徳島県気候変動適応センター設置
 - ・事前復興対策を対象に追加
- ◇ 2050年カーボンニュートラル宣言

自然・水素エネルギーの導入促進

- ◇ CO2排出の4割を占める電力部門等の脱炭素化を推進
 - ・ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)の導入促進
 - ・自立・分散型電源の導入促進
- ◇ 水素エネルギーの戦略的な普及啓発



- 2030年度 温室効果ガス排出50%削減(2013年度比)
- 2030年度 クリーンエネルギー電力自給率70%

さらに

2050年 脱炭素社会の実現へ

主な指標及び工程

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ K G I : 2030年度温室効果ガス排出50%削減 (2013年度比)

担当課: サステナブル社会推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	▲24.5%	▲27.6%	▲30.7%	▲33.7%
実績	▲28.7%	▲29.0%	—	—	—

□ CSF-1 : 民生部門の消費エネルギーの削減

➤ KPI : ZEHの啓発活動の実施数(累計)

担当課: サステナブル社会推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	12件	14件	16件	18件
実績	9件	12件	16件	18件	21件

□ CSF-2 : 自然エネルギーの導入促進

➤ KPI : 自立・分散型電源導入支援事業数(累計)

担当課: サステナブル社会推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	10	15	20	25
実績	5	10	15	20	25

課題とアクション

	課題	アクション
1	FIT制度が新たな制度に移行することで自然エネルギーの導入促進が停滞するおそれがある。	PPA方式など新たな導入促進策を検討する。 ・太陽光発電等の率先導入 ・民間への普及促進事業
2	民生部門の温室効果ガス排出削減のため、ZEHやZEB等の更なる普及啓発活動が必要となる。	住宅関連事業者との意見交換会を開催するなど、ターゲットを明確にした制度の効果的な周知方法を検討する。

令和6年度における取組内容

■ 主な取組

➤ ZEV導入加速化事業【2月補正】

- ・ 県民主役による「脱炭素型ライフスタイル」への早期転換を図るため、「走行時の温室効果ガス排出削減」に資するEV(電気自動車)をはじめとするZEVやV2H(住宅用充放電設備)・V2L(外部給電器)を導入しようとする県民や事業者に対して支援を行う。

➤ 卒FIT対応・蓄電池導入促進事業【2月補正】

- ・ 固定価格買取制度(FIT)の買取期間が終了した、いわゆる「卒FIT」太陽光発電設備を保有する県民を対象に、家庭用蓄電池の購入費用の一部を支援する。

➤ PPA等による自家消費型太陽光発電導入促進事業

- ・ PPAやリースによる個人住宅への設備導入を促進するため、購入の場合と同額の補助をPPA等事業者に対し行うことで、設備導入者の負担軽減を図る。

■ 令和6年度予算 855,484千円【令和5年度2月補正含む】

- | | |
|---------------------------|-----------|
| ➤ ZEV導入加速化事業【2月補正】 | 259,000千円 |
| ➤ 卒FIT対応・蓄電池導入促進事業【2月補正】 | 25,800千円 |
| ➤ PPA等による自家消費型太陽光発電導入促進事業 | 15,370千円 |



案件種別

「リーディング」案件として 該当あり 該当なし

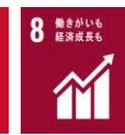
- 本県は自治体では6番目に「2050年カーボンニュートラル宣言」を行っており、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする脱炭素社会・カーボンニュートラルの実現といった「グリーン社会」の実現は、政策全体の最適化や地域課題解決の加速化など、「地方創生」の取組みの更なる充実・深化に資するものである。

「オンリーワン」案件として 該当あり 該当なし

「ナンバーワン」案件として 該当あり 該当なし

7 とくしまサテライトオフィスプロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

新たな価値が創造され、豊かさを実感できる社会

基本目標(分野)

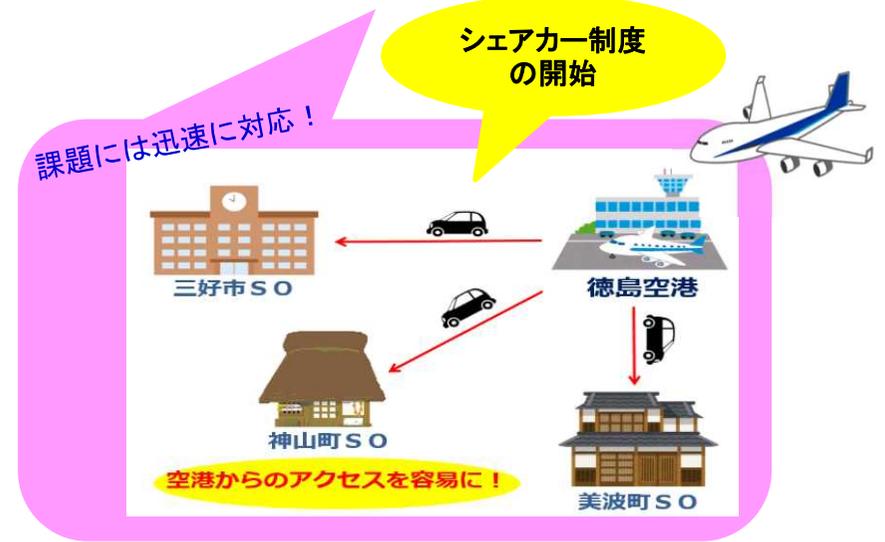
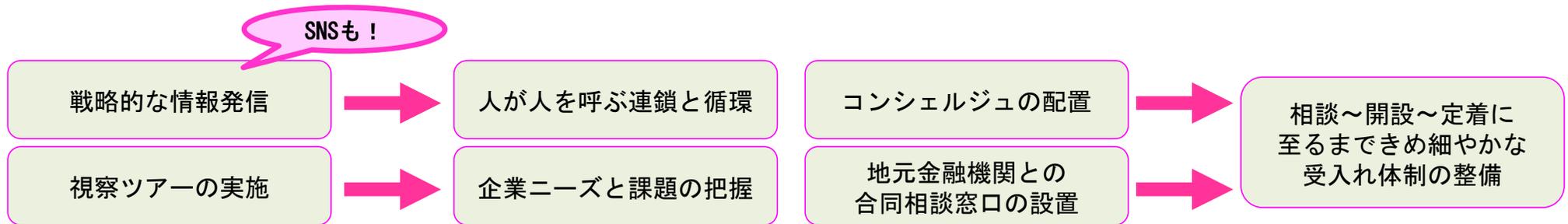
人と企業が集まる地域づくり

重点戦略

地域の強みとデジタル技術を活用した、新サービスの創出

プロジェクトの内容

「とくしまサテライトオフィス・プロモーションチーム」による地域・NPO・進出企業・行政が一体となったサテライトオフィス誘致活動を実施（H24.3～）



サテライトオフィスのさらなる集積による
地域における「ひと」と「しごと」の好循環へ

主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ K G I : サテライトオフィス進出企業数

担当課:企業支援課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	75	80	85	90
実績	77	86	103	112	111

県内市町村へのサテライトオフィス進出状況



主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF : サテライトオフィス進出企業の誘致・定着

➤ KPI-1 : サテライトオフィス新規進出企業数/年

担当課:企業支援課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	2	5	5	5
実績	10	11	23	13	1

➤ KPI-2 : サテライトオフィス進出企業が参加する誘致・交流イベントの開催数/年

担当課:企業支援課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	10	10	10	10
実績	13	14	18	10	4

課題とアクション

	課題	アクション
1	サテライトオフィス進出企業の雇用促進及び事業拡大	サテライトオフィス進出企業の誘致 サテライトオフィス進出企業と自治体・県内企業とのビジネスマッチングイベント

令和6年度における取組内容

■ 主な取組

➤ 地域課題解決共創推進事業(企業支援課)

- ・ 首都圏に県の活動拠点設置・専門人材の配置
 - ー 首都圏に活動拠点(WeWork)を設置し、企業誘致の専門人材を配置することで、首都圏企業等とのネットワークを構築し、誘致につなげる。
- ・ 企業マッチングナビゲーターの配置
 - ー サテライトオフィス開設に係る県内総合窓口を設置することで、企業の進出検討から進出後の定着まで切れ目のない支援を行う。

➤ みんながインフルエンサー！ 県南シビックプライド醸成事業のうちサテライトオフィス誘致・深化(南部総合県民局)

- ・ サテライトオフィス進出検討企業向け南部圏域視察イベントの実施
- ・ 南部圏域サテライトオフィス進出企業による交流会の開催

■ 令和6年度予算 18,945千円

- 地域課題解決共創推進事業 14,500千円
- みんながインフルエンサー！ 県南シビックプライド醸成事業のうちサテライトオフィス誘致・深化 4,445千円

令和6年度における取組内容(参考)

■ サテライトオフィスマッチングイベント

主催 徳島県
日時 令和6年12月19日(木)
午後6時30分～午後8時30分
場所 WeWork品川
来場者数 25社39名
参加自治体
鳴門市、小松島市、阿南市、海陽町、東みよし町
(那賀町、美波町はパンフレット展示のみ)

イベント内容

- ・徳島県のサテライトオフィス取組紹介
- ・県内自治体のPR(地域事情、取組等)
- ・参加企業と自治体の個別相談会
- ・交流会

※令和3年度より実施している
イベントを通じた進出企業数:6社

サテライトオフィスマッチングイベント

徳島県ななつの自治体めぐり

WeWork品川で徳島×企業の交流イベントを開催!
県内7つの自治体がそれぞれの地域の魅力や企業誘致の取組をご紹介します。ぜひご参加ください!

令和6年
12月19日(木)
18:30～20:30 (※受付は18:00～)

参加費 無料
定員 30名
定員になり次第締切ります!

会場: **WeWork品川** (東京都港区高輪4-10-18京急第1ビル13F)

主催: 徳島県

参加者
鳴門市 小松島市 阿南市 那賀町 美波町 海陽町 東みよし町

イベントプログラム

18:00～	開場&受付
18:30～18:40	徳島県のサテライトオフィス取組紹介
18:40～19:00	県内自治体のPRタイム
19:00～19:40	個別相談会
19:40～20:30	交流会

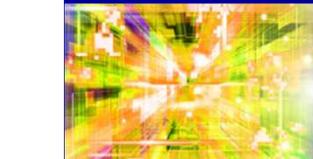
交流会では徳島県産品を含めた軽食をご用意しています!

※予告なくプログラムの時間を変更する場合がございます。

お問い合わせ
徳島県経済産業部 企業支援課 立地推進担当
〒770-8570 徳島県徳島市万代町1-1
TEL.088-621-2306
E-mail kigyoushienka@pref.tokushima.lg.jp

申し込み
右の二次元コードから応募フォームにご記入の上お申し込みください。
締切 12月12日(木)

申し込みはこちら



案件種別

「リーディング」案件として 該当あり 該当なし

- 澄んだ空気や、美しい景観などの「癒しの空間」と、都会より快適な「高速のインターネット通信」が見事に共存する優れた環境で、都会と同じ業務が行えるばかりか、想像の中にあった、日本の原風景が残る五感を刺激する魅力的な環境に創造力をかき立てられ、新しいアイデアが生まれる。
また、仕事以外の時間にはサーフィンや農業など趣味の時間を満喫でき、心の癒しや心身の心地よいバランスを全身で感じることで仕事と生活に力がみなぎるなど、都会では決して得られない新しい働き方の魅力を発信している。

「オンリーワン」案件として 該当あり 該当なし

「ナンバーワン」案件として 該当あり 該当なし

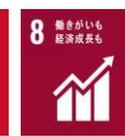
参考情報URL等

- TOKUSHIMA Satellite office Promotion site
 - <https://www.tokushima-workingstyles.com/home.html>



8 とくしまクリエイティブプロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

新たな価値が創造され、豊かさを実感できる社会

基本目標(分野)

人と企業が集まる地域づくり

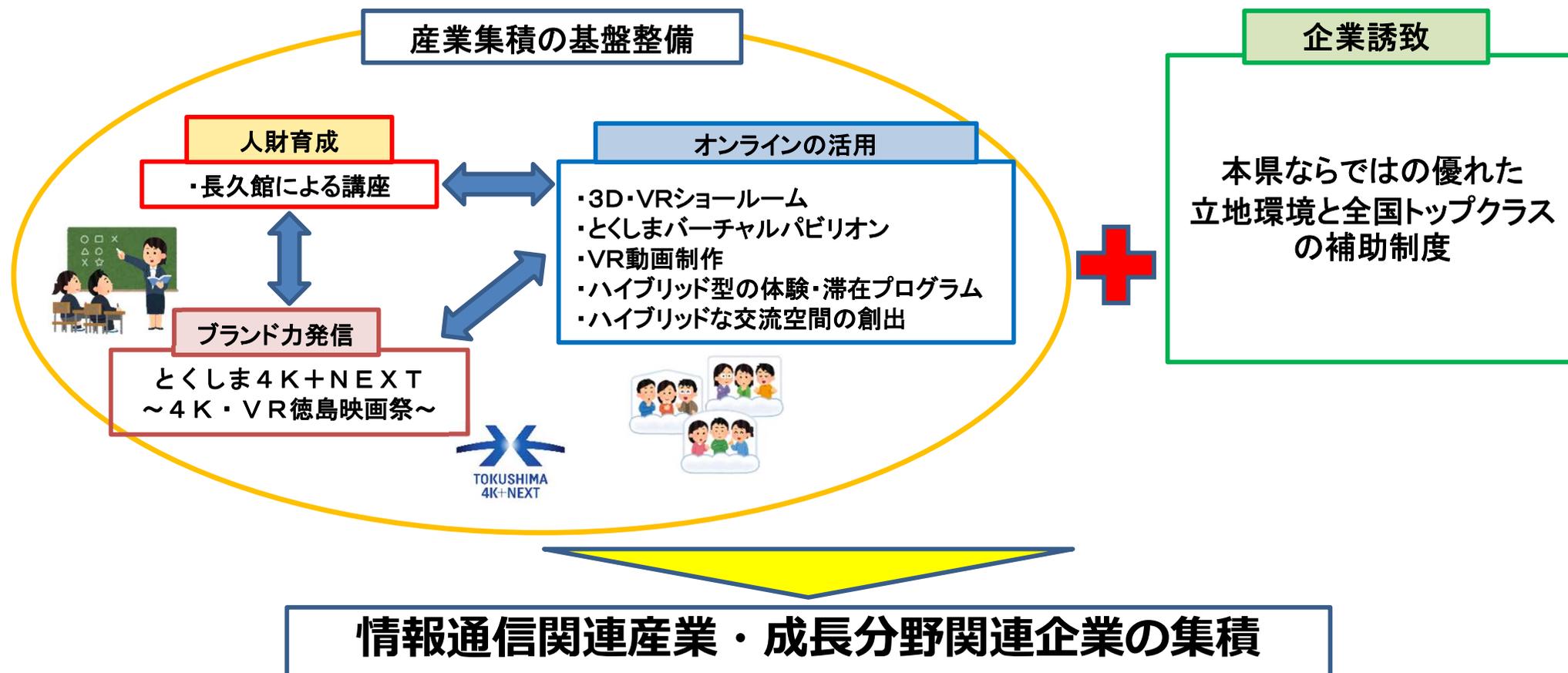
重点戦略

地域の強みとデジタル技術を活用した、新サービスの創出

プロジェクトの内容

- ① 高等教育機関等と連携したクリエイティブ人材の育成
- ② 全国屈指の光ブロードバンド環境など、オンラインによる本県の魅力発信
- ③ 最先端映像の先進地である徳島のブランド力発信により、産業集積のための基盤整備
- ④ 本県独自の立地補助制度などによる企業誘致活動

これらにより、情報通信関連産業・成長分野関連企業の集積を図る。



主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ KGI : クリエイティブ関連企業数 (累計) ※

担当課: 産業創生・大学連携課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	300	315	330	345
実績	289	301	317	337	351

※クリエイティブ関連企業とは、映像、ソフトウェア、デザインなど創造性や技能・技術が価値を生む作品等の制作に関連する企業

□ CSF-1 : 情報関連産業の集積

➤ KPI-1 : 4K・VR関連企業(者)数(累計)

担当課: 産業創生・大学連携課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	22	24	26	28
実績	21	22	27	30	31

➤ KPI-2 : Society5.0関連企業など情報通信関連企業の集積数(事業所)(累計)

担当課: 企業支援課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	51	54	57	60
実績	52	56	58	62	63

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-3 : 成長分野関連企業等の奨励指定企業数(累計)

担当課:企業支援課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	104	110	116	122
実績	97	104	113	126	133

※成長分野関連企業等とは、製造業、情報通信関連産業及びサテライトオフィス等を対象としている。

□ CSF-2 : 4K・VR等映像先進地徳島の発信

➤ KPI-1 : 4K・VR映画祭の開催

担当課:産業創生・大学連携課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	開催	認知度の向上と参加者の増加を図りながら開催(PDCA) →		
実績	開催	開催			

※関係者等が主体となり独自開催

➤ KPI-2 : 3D・VRショールームでの展示・イベント実施件数 ※

担当課:産業創生・大学連携課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	2	3	4	5
実績	—	2	2	3	1

※3D・VRショールームとは、インターネット上に構築したバーチャルの展示・イベント会場 アクセスURLは11ページ参照

主な指標及び工程(3)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-3 : とくしまバーチャルパビリオンの構築・開設

担当課: 万博推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	構築	県民の意見を反映し、機能強化	万博関係の講座等で活用	
実績	—	構築	機能強化	講座等で活用	講座等で活用

※2025年に開催される大阪・関西万博を契機として、徳島の魅力を発信するバーチャルパビリオンを制作し、万博関係の講座やイベント等で活用する。

※インターネット上に構築しており、アクセス方法は11ページ参照

➤ KPI-4 : リアルとオンラインによるハイブリッド型の体験・滞在プログラムの参加者数

担当課: 西部総合県民局地域創生観光部

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	940人	1,000人	1,000人	1,000人
実績	971人	1,031人	1,180人	5,195人	5,000人

※R2年度にオンラインで行った「オンラインバスツアー」では、ZOOMを介してバスガイドの指示で事前に送付されたお土産(フリーズドライのそば米雑炊など)を食べたり、現地ガイドが実際の観光地(「かずら橋」の渡橋ライブ配信や事前収録した動画)を案内している。リアルとオンラインを組み合わせ、実際のバスに乗車したかのような演出が好評

※R3年度以降は、行動制限の解消によりコロナ前のようなリアルの旅行への参加が主流となり、にし阿波ならではの体験プログラム(藍染め、祖谷蕎麦粉挽き、祖谷溪ジップライン等)参加者が増えた。

主な指標及び工程(4)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-5 : リアルとデジタルが融合した「ハイブリッドな交流空間」の創出

担当課: 関西本部

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標 実績	—	整備 整備	参加者からのアンケートを基に活用(PDCA)		
	—		活用	活用	活用

※リアルとオンラインのハイブリッド型でセミナーや会議(20~30人程度)が実施できる場所として整備
大型テレビモニター2台、マイク、スピーカー、音声ミキサー、スイッチャー等を設置

※令和6年度は、オンライン会議やオンラインセミナー等で使用

- ・関西阿波おどり協会連長会
- ・関西ファンづくりPT@関西ミーティング
- ・徳島大学技術士会
- ・徳島大学工業会近畿支部連合会会議 等

利用者からの意見・要望等は特になし。通信機器も問題なく稼働している。

➤ KPI-6 : VR動画制作本数(累計)

担当課: 県民ふれあい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	45	50	55	60
実績	52	76	80	80	80

※1 県が作成した徳島県PR等動画数

※2 各動画はYouTubeの「徳島県チャンネル」及び「徳島発! 輝くむらのたからチャンネル」で公開中
アクセスURLは11ページ参照

主な指標及び工程(5)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-3 : 持続可能な発展に向けた人材の育成

➤ KPI-1 : とくしま経営塾「長久館」における「DX関連講座」の講座数

担当課:企業支援課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	10	12	13	14
実績	10	11	15	18	14 ※

※DXの推進(デジタル人材の育成)分野 受講者数:411名

課題とアクション

	課題	アクション
1	5Gの普及拡大や新型コロナウイルスにより、デジタル化が加速する社会構造の転換を踏まえた新サービス創出に向け、最先端技術関連企業やクリエイターの集積を進める必要がある。	<p>「徳島アーカイブス」「3D・VRショールーム」の運営・活用等により、最先端映像の先進地である徳島のブランド力強化や高等教育機関等と連携したクリエイティブ人材の育成を図る。</p> <p>全国屈指の光ブロードバンド環境を活かした、本県独自の立地補助制度や都市圏における企業誘致活動を通じて、AI・ビッグデータ等の情報通信関連産業や成長分野関連企業の集積を図る。</p>

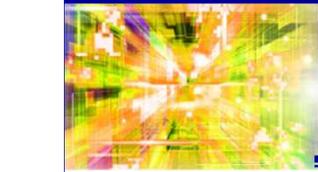
令和6年度における取組

■ 主な取組

- 「徳島アーカイブス」「3D・VRショールーム」の運営・活用
 - 4K映像や4Kデジタルコンテンツ等をインターネット上に「徳島アーカイブス」として掲載し、いつでも、誰でも、どこからでも利用できる情報及び素材を提供
 - 情報発信やイベント等に活用できるインターネット上のメタバース空間である「3D・VRショールーム」の運用
- 関係機関による「神山映画祭」の独自開催
 - 県補助制度を案内し、関係機関が主体となった映画祭の実施を支援
- 「とくしま経営塾『長久館』事業」の実施
 - デジタル技術を活用した新分野への事業展開を支援するため、企業内人材のデジタル能力向上や生産性向上を目指し、「DXの推進(デジタル人材の育成)」を重点項目の一つとして、経営者や担当者など人材の階層別に各種セミナーを実施（14講座、411名）

■ 令和6年度予算 14,000千円

- | | |
|-----------------------|----------|
| ➤ 「徳島アーカイブス」の運営 | 2,000千円 |
| ➤ コンテンツ・クリエイターの育成 | 1,000千円 |
| ➤ 「とくしま経営塾『長久館』事業」の実施 | 11,000千円 |



案件種別

「リーディング」案件として

(該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

参考情報URL等

- 徳島アーカイブス

- <https://archive.4kforum.jp/>



- 3D・VRショールーム

- <https://cluster.mu/w/f02a9995-0e74-4620-8f9b-d739cc857647>

- ※スマホ、タブレット、PC等にアプリ「cluster(クラスター)」のインストールが必要



- 【大阪・関西万博】とくしまバーチャルパビリオン

- <https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kurashi/chihososei/7206222>

- ※スマホ、タブレット、PC等にアプリ「cluster(クラスター)」のインストールが必要



- 徳島県チャンネル(YouTube)

- <https://www.youtube.com/user/tokushimakouhou>



- 徳島発！輝くむらのたからチャンネル(YouTube)

- <https://www.youtube.com/channel/UCoWIFggMTG8FA9Q9J2BdS-Q>



9 テレワーク推進プロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

新たな価値が創造され、豊かさを実感できる社会

基本目標(分野)

人と企業が集まる地域づくり

重点戦略

地域の強みとデジタル技術を活用した、新サービスの創出

プロジェクトの内容

- ① 県内企業に対し、テレワーク実装化に向け、DX等に対応する業務の電子化に向けた支援やテレワーク出前相談など、ステップアップ支援を行う。
- ② 自営型テレワーカーやテレワークコーディネーターを養成するため、研修等を実施する。
- ③ 関係機関と連携し、養成したテレワーカーと県内企業とのマッチングを支援する。
- ④ テレワーク推進の拠点施設「テレワークセンター徳島」を運営し、導入・定着に関する相談対応やホームページ等での情報提供を行う。



テレワーク
センター徳島
Telework Center Tokushima



個別相談

対面・リモートで
随時対応

企業の現状や課題をアドバイザーが聞き取り、専門機関と連携しながら相談対応

導入・定着に向けたトータルサポート

情報提供・イベント・セミナー

テレワークツール体験

お試し・本格導入支援

マッチング支援

県内でのテレワーク
普及促進

災害に強い
徳島づくり

県内中小企業の
経営基盤の強化

徳島への
地方回帰促進

「多様な人材」の
活躍促進

主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ KGI : 県の支援を受け、県内でテレワークを導入した事業所数 (トライアル実施含む) (累計)

担当課:労働雇用政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	115	135	145	155
実績	115	128	143	154	166(見込)

□ CSF-1 : テレワーク導入・定着に関する県内企業への個別支援

➤ KPI-1 : テレワークに関する相談対応等件数/年 ※1

担当課:労働雇用政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	80	80	80	80
実績	91	28 ※2	85	81	65(見込)

※1 対面・電話・オンラインによる個別支援件数

※2 新型コロナの感染拡大のため、企業への訪問が困難になり、目標は未達成であるが、

「社内メンバーだけでなく、テレワークセンター徳島からアドバイスをもらいながら進めることが、課題解決への早道となった」などの声もあり、企業の満足度は高い。

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-2 : テレワーク普及の為の人材育成

➤ KPI-1 : テレワーカー及びテレワークコーディネーター養成数/年※

担当課:労働雇用政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	10	10	10	10
実績	9	12	29	32	15(見込)

※講座受講により得たスキルを活かし、テレワーカーとして県内企業から業務委託を受けるなど、それぞれが活躍されている。

課題とアクション

	課題	アクション
1	<p>令和5年10月から11月にかけて行ったアンケート調査により、企業のテレワーク導入にあたっては、「適した仕事がない」、「労務管理・評価が困難」、「情報漏洩が心配」などが、課題として多く挙げられた。</p> <p>また、導入・定着どちらの場合も「助成金・補助金情報」や「勤務規定・実施ルール」に関する支援ニーズが高いことが分かった。</p>	<p>アンケート調査の結果を踏まえ、ニーズに応じた情報提供や、導入・定着に向けたきめ細かな支援を行うことで、企業におけるテレワークの満足度を向上させ、県内でのテレワーク普及促進を図る。</p>

令和6年度における取組内容

■ 主な取組

- テレワークセンター徳島の運営(随時相談対応等)
- とくしまテレワーク講座
 - ・ 短期間で気軽に受講できるスキルアップ講座等を開催
 - ・ 希望者には「キャリアカウンセリング」を実施 ※キャリア…職業上の経歴や経験
- マッチング支援
 - ・ 県内企業の深刻な人材不足に対応
- 「徳島県働き方改革アップデート・レポート」の作成
 - ・ 県内企業の働き方改革に関する現況調査・分析を実施
 - ・ 県内外の企業等の先進的な事例を研究
- テレワークdeはぐくみ支援表彰(表彰企業一覧については、資料9ページのURLを参照)
 - ・ 仕事と家庭の両立支援等に取り組む「はぐくみ支援企業」に対して
テレワーク導入を促進

■ 令和6年度予算 15,000千円

- とくしまスマートワークプロジェクト 15,000千円

令和6年度における取組内容(参考)

とくしま
テレワーク講座
2024

「やりたい自分」への一歩踏み出そう

【実施期間】
令和6年(2024年) 10月1日(土)
令和6年(2024年) 12月13日(水)

「とくしまテレワーク講座2024」では、目的に合わせた2つのコースが選択できます!

「自分のやりたい仕事に活かしたい」
標準コースをおすすめします!

「自分のやりたい仕事に活かしたい」
アドバンスコースをおすすめします!

アドバンスコースはテレワークの最新情報やスキルアップのための講座です。初めての人は標準コースからの受講をおすすめします。

【受講方法】リアルタイム(来館^{※1}/オンライン)、録画受講^{※2}

※1 実室での受講はテレワークセンターに受講します。
※2 録画受講の料金は基本的に1日1回の受講料ですが、個人への転送や遠隔地からの受講は送料がかかります。

年次	1年	2年	3年	4年	5年	6年	2025年度	2年	3年
とくしまテレワーク講座(標準)	100以上の受講が受講可能	受講率はお問い合わせください							
とくしまテレワーク講座2024にお申し込み可能な期間									
とくしまテレワーク講座2024									
とくしまテレワーク講座2024									
テレワーク研修対象のキャリアマッチング									
テレワーク研修対象のキャリアマッチング									

➤ とくしまテレワーク講座2024

- 内容
 - ー 初めてさんのためのWordPress講座
 - ー ウェブアクセシビリティ講座

など、全20講座

(単発受講、標準コース、アドバンスコースを選択可)

- 実績
 - ー 各講座延べ申込み人数 318名

■ 管理職・キャリアアップを目指す方向けのプログラム

チームで成果を出すためのマネジメントとリーダーシップについて、セミナーやeラーニングコンテンツにより学んでいただく機会を提供

共感型リーダーシップセミナー
～これからの時代のリーダーの在り方とは～

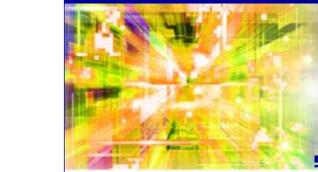
全3回
第2回 2/20
第3回 2/27

そのリーダーシップはもう古い!
支配的リーダーシップから
共感型リーダーシップへ

第1回
リーダーシップの進化と
共感型リーダーシップの基礎

株式会社ベア・フレイブ
白井晋也氏

2月13日(木)20:00～プレミア公開



案件種別

「リーディング」案件として

(該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

参考情報URL等

- テレワークセンター徳島

- テレワークセンター徳島ホームページ

<https://www.tokushima-telework.jp/>



- テレワークに関するアンケート調査

https://www.tokushima-telework.jp/new_start/koyougata/6151.html



- テレワークdeはぐくみ支援表彰

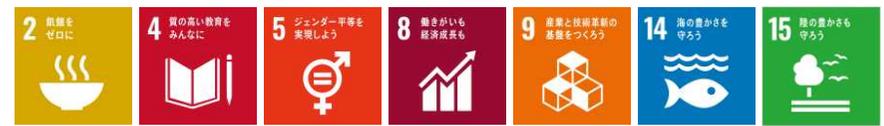
- 「はぐくみ支援企業」表彰された企業のご紹介

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/sangyo/rodokankei/5052906/>



10 スマート農林水産業プロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

新たな価値が創造され、豊かさを実感できる社会

基本目標(分野)

魅力ある
農林水産業の実現

重点戦略

スマート農林水産業の推進

プロジェクトの内容

- ① 県と徳島大学等の高等教育機関や民間企業が連携した農林水産3分野の「サイエンスゾーン」を核として、オープンイノベーションを加速し、**スマート技術の研究開発を推進**
- ② 施設野菜栽培の環境制御技術を学ぶ「施設園芸スマート技術講座」や「海部きゅうり塾」、次代の担い手育成の拠点である「農業大学校」などにおいて、**スマート技術を駆使できる人材を育成**
- ③ 農林水産総合技術支援センターの「ローカル5G」を技術開発や人材育成に活用し、**スマート技術の現場実装を加速**

産学官連携

5Gオープンラボ

研究開発・現場実装

【効率化・超省力化】

- ・ドローンによる農薬散布
- ・航空レーザ測量等による森林情報の取得
- ・ICTを活用した「囲いわな」の遠隔操作によるシカ捕獲
- ・IoT、AIを活用したリアルタイム水質情報配信、漁海況予測



農薬散布用ドローン



果実の熟度判別

5G活用

【多収・高品質生産】

- ・IoTを活用した最適な栽培環境の管理
- ・AIの画像解析による生育診断

人材育成

【施設園芸スマート技術講座】

【海部きゅうり塾】

- ・ハウス内の温度、湿度、炭酸ガス濃度など環境制御技術の習得



環境制御技術

【農業大学校】

- ・スマート農業機械の操作などの実習
- ・新型コロナに対応したリモート授業環境の整備
- ・「スマートグラス」で作業のポイントを学べる実習システム



スマートグラスを活用した実習

農林水産業DXの推進

魅力ある農林水産業の実現

主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ KGI : 農林水産業におけるスマート化技術※導入経営体数 (累計)

担当課: 経営推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	50	60	85	100
実績	48	63	80	94	113

【導入技術の事例】

- ・ 収量コンバイン : 収穫と同時に、食味に影響を及ぼす「タンパク質含量」等を測定でき、ほ場毎のバラツキに応じて、翌年の施肥量を調節することが可能
- ・ 農薬・肥料散布ドローン : 手作業に比べ、作業時間や作業負荷を大幅に軽減できる。
- ・ 環境モニタリングシステム : 栽培ハウス内の環境(温・湿度、日射量、風速、CO2濃度等)を各種センサーで自動測定し、タブレット等において確認や制御が可能

□ CSF-1 : 5GやIoT、ビッグデータ、AI、ロボット等のデジタル技術を活用した、スマート技術の研究開発・現場実装の推進

➤ KPI-1 : スマート技術を活用した農作業受託事業者数(累計)

担当課: 経営推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	3	6	10	13
実績	3	4	11	15	19

※提供事業者所在地: 阿南市7件、徳島市・美馬市・阿波市・那賀町・美波町各2件、小松島市・鳴門市各1件

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-2 : 新技術の開発に向けた県と大学・企業との共同研究数(累計)

担当課: 経営推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	40	52	66	82
実績	36	54	75	95	115

【研究事例】

- ・ AI(ディープラーニング)を用いた果樹の効率的栽培管理支援システムの開発
- ・ 効果的な農薬散布を可能とする画像解析による害虫発生予測モデルの開発
- ・ ドローン等を用いたレンコン栽培省力化技術の実証
- ・ 海水温や水揚げ量データから漁況を予測するシステムの開発 等

➤ KPI-3 : 新たなイノベーション創出による農林水産物の産出額

担当課: 経営推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	100億円	103億円	106億円	109億円
実績	92億円	95億円	95億円	105億円	—

【令和5年度産出額内訳】

県産木材 44.2億円、あきさかり(米) 24.4億円、阿波尾鶏 20.4億円、ワカメ 9.0億円、その他

主な指標及び工程(3)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

- KPI-4 : アグリサイエンスゾーンにおけるローカル5Gを活用した
スマート農業の推進

担当課: 経営推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	推進	関係者の意見を反映しながら推進(PDCA)		
実績	—	推進	推進	推進	推進 令和7年3月終了

【活用検討事例】

- ・ IoT(微小害虫モニタリングシステム)
- ・ AI(収穫時期判断等非熟練農業者支援システム)
- ・ ICT(スマートグラス遠隔授業)

(再掲14: Society5.0実装プロジェクト)

(再掲16: ローカル5Gプロジェクト)

□ CSF-2 : スマート技術を駆使する人材の育成

- KPI-1 : 施設キュウリ栽培における新規就農者数(累計)

移住就農(半農半X)によるキュウリ産地の活性化を目指す「きゅうりタウン構想」において、
栽培環境制御システム等を活用した「高収量栽培(目標: 30t/10a)」を实践

担当課: 南部総合県民局農林水産部

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	28人	32人	36人	40人
実績 (県内/県外から移住)	19人 (7人/12人)	26人 (10人/16人)	30人 (10人/20人)	32人 (11人/21人)	34人 (13人/21人)

課題とアクション

	課題	アクション
1	産地特性に合った技術の開発が必要	「オープンイノベーション」の加速による、 県内産地へのスマート技術の横展開
2	導入コストが高額	スマート農業機器の導入支援 生産現場における実証による効果の明示
		農業支援サービス事業者の育成
3	知識や技術を有する人材の確保が必要	研修講座や実演会などによる 学習機会の提供、情報発信
		農業支援サービス事業者の育成

令和6年度における取組内容

■ 主な取組

➤ スマート技術の研究開発・現場実装の推進

- ・ 航空レーザーやドローンを活用した森林評価の効率化(R5~7)
- ・ 栽培環境データ解析によるシンビジウムの病害予防・水分管理技術の開発(R4~6)

➤ スマート技術を駆使できる人材の育成

- ・ 「施設園芸スマート技術講座※」等における、IoTによる栽培環境制御技術を駆使した、トマト、シンビジウム等の高収量栽培技術の習得

※受講生は、栽培技術を高めたい若手農業者が中心であり、
野菜や花き栽培の実践的技術を習得する講座

➤ 農業分野における「ローカル5G」の活用

- ・ 「高精細画像」のAI解析による「微小害虫モニタリングシステム(R4~6)」や、「ミニトマト収穫予測システム(R5~7)」の開発を推進

■ 令和6年度予算 63,410千円

- | | |
|-----------------------------|----------|
| ➤ 生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業推進事業 | 10,500千円 |
| ➤ スマート農業支援サービス拡大事業 | 47,000千円 |
| ➤ とくしま農林水産チャレンジセンター展開事業 | 5,910千円 |

(補足)リモートセンシングやUAVによる森林情報の取得

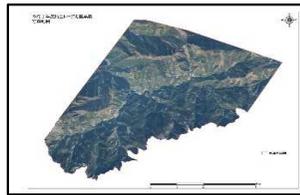
● リモートセンシング

技術の効果: 区域内にある木材の材積を推計するために、人力で樹高や太さ等を計測している「森林評価」を、省力化かつ高精度化できる。⇒ 未整備森林におけるの施業促進

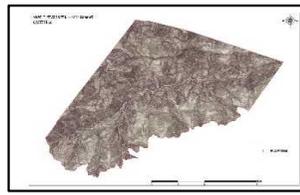
➤ 航空レーザ

航空機から森林にレーザ光を照射し、跳ね返りの距離や時間差を調べ、得られた3次元データをもとに、様々な森林情報を解析する。

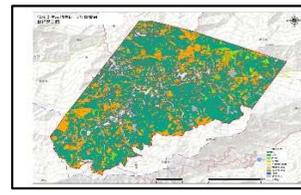
【主な成果品】



①航空写真



②微地形表現図



③林相区分図

【活用事例】

- 都道府県が定める地域森林計画に活用 ⇒ 森林簿、森林計画図の精度向上
- 事業者等が施業計画を立てる際に活用 ⇒ 材積量の算出や既設路網の判読効率化

➤ 衛星写真

広範囲のデータが入手でき、航空レーザが発展する以前の主要な手法

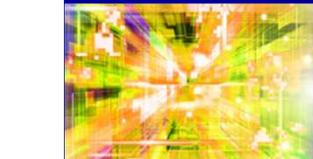
⇒ 保有データは、地域森林計画策定の参考に活用

● UAV(ドローン)

航空レーザに比べ、リアルタイムな森林情報を低コストで得られるが、広範囲の撮影が難しく、天候や地形により撮影が制限される。

⇒ 現況把握、事業計画策定等





案件種別

「リーディング」案件として

(該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

参考情報URL等

- スマート農業の情報発信

- スマート農業フェスタ(令和6年11月9日開催)

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/file/attachment/948824.pdf>

- 旬感！あわだより すだちのスマート農業実演会(You Tube)

https://www.youtube.com/watch?v=F9yAG6_Iq0A



- 施設園芸スマート技術講座

- 施設園芸スマート技術講座(徳島県立農林水産総合技術センター農業大学校HP)

<https://tonodai.ac.jp/academy/gardening2024.html>

- とくしま農林水産チャレンジセンター

<https://aff-tokushima.jp/agriculture-academy/>



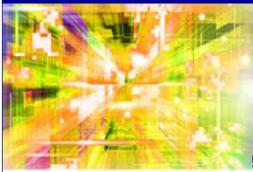
- 「海部きゅうり塾」など、海部地域「きゅうりタウン構想」

- 全国知事会先進政策バンク きゅうりタウン構想推進事業

<https://www.nga.gr.jp/app/seisaku/details/6060/>



11 デジタル技術を活用した 学校教育プロジェクト



プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

人材を育み、誰もが輝く自己実現可能な社会

基本目標(分野)

教育・人材育成

重点戦略

学びを支えるデジタル技術の活用

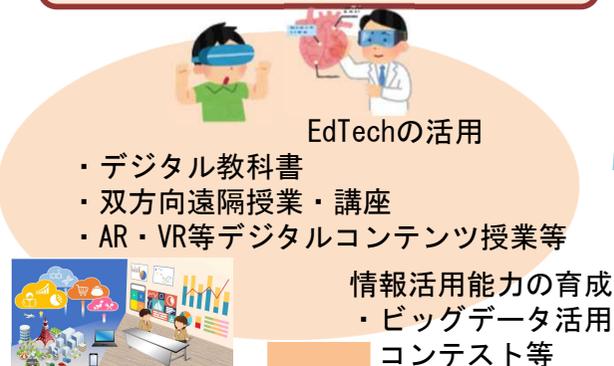
プロジェクトの内容

- ① 県内公立学校におけるICT活用教育を推進するために教員研修を実施する。
 - ② 1人1台端末等のICTを活用した教育を推進するとともに、全ての学習において必要な資質能力の基盤であると位置づけられた情報活用能力の育成を図る。
 - ③ 県立学校において、ソフト・ハード両面から、平時・有事を問わないシームレスな環境整備を行う。
- ⇒ 1人1台端末等のICT活用の好事例の収集と普及を図り、全県展開につなげる。

①教員のICT活用指導力の向上



②1人1台端末等のICTを活用した授業等の実践



③「いつでも」、「誰でも」、学びを止めることのない環境の整備



好事例の
収集と普及

GIGAスクール構想の実装

主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ **KGI : 電子黒板や1人1台端末の県内公立学校
(特別支援学校を含む)における活用事例数(累計)**
<GIGAスクール構想の実装>

担当課:教育DX推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	100	200	300	400
実績	—	117	233	475	547

□ **CSF-1 : 教員のICT活用指導力の向上**

➤ **KPI-1 : 県内公立学校におけるGIGAスクール構想に関する研修の実施率**

担当課:教育DX推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	100%	100%	100%	100%
実績	—	100%	100%	100%	100%

➤ **KPI-2 : GIGAスクールサポーターの配置 ※1**

担当課:教育DX推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	国の状況を踏まえて配置		県単独事業として配置 ※2	
実績	—	巡回による 配置済み	巡回による 配置済み	巡回による 配置済み	巡回による 配置済み

※1 GIGAスクール構想による急速な学校のICT化を支援するため、学校に配置されるICT企業の人材等ICTに関する知見を有する者

※2 授業等におけるICT利活用とICT環境維持を支援する専門人材として、「GIGAスクールサポート人材」ICT支援員を配置

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-2 : 1人1台端末等のICTを活用した授業等の実践

➤ KPI-1 : 県立高校における指導者用デジタル教科書の整備率

担当課: 高校教育課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	100%	100%	100%	100%
実績	100%	100%	100%	100%	100%

終了 ➤ KPI-2 : 県立高校での双方向遠隔授業・講座実施回数

担当課: 教育創生課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	70回	70回	70回	事業終了
実績	82回	84回	91回	111回	

※県立高校に遠隔教育の支援ツールを整備したため、令和5年度で事業終了

➤ KPI-3 : 県立高校でのAR・VR等デジタルコンテンツ授業実施回数 (累計)

担当課: 教育創生課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	15回	30回	45回	60回
実績	—	15回※	30回※	48回※	75回※

※徳島商業高校での実証

主な指標及び工程(3)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

終了 ➤ KPI-4 : 県内全高校生を対象とした「高校生ビッグデータ活用コンテスト」
参加校数

担当課:教育DX推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	3校	6校	7校	事業終了
実績	—	4校	5校(7作品)	5校(9作品)	

※他団体による同種のコンテストが増えていることから、令和5年度で事業終了

終了 ➤ KPI-5 : 小中学校におけるCBTの実施校数 ※

担当課:教育DX推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	—	50校	事業終了
実績	—	—	4校	51校	

※CBT:【Computer Based Testing】コンピュータを使用した調査

※代替システムの検討のため、令和5年度で事業終了

主な指標及び工程(4)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-3 : 「いつでも」、「誰でも」、学びを止めることのない環境の整備

- KPI-1 : ネット環境のない県立高校生世帯に対する貸出用モバイルルーター整備率

担当課:教育DX推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	100%	100%	100%	100%
実績	—	100%	100%	100%	100%

(再掲 13 デジタルデバイド対策プロジェクト)

- KPI-2 : 徳島県生涯学習システムへのアクセス件数 ※

担当課:総合教育センター

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	103,000件以上	200,000件以上	340,000件以上	340,000件以上
実績	262,250件	332,498件	372,499件	372,673件	370,000件(見込)

※ 県と市町村及び県内生涯学習関連施設等が連携し、県民への学習活動の選択支援や、良質な生涯学習情報の提供をインターネットを利用して行うもので、様々な生涯学習情報をキーワードで検索し、探すことが可能

課題とアクション

	課題	アクション
1	徳島県GIGAスクール構想実装するため、全ての公立学校において1人1台端末をはじめとするICT環境が平時・有事を問わずあらゆる場面で積極的に活用されるとともに、優良事例が全県展開され浸透していく環境を整えること。	<p>学校のニーズにあったきめ細かな研修の実施やサポート体制の構築により、ICT環境の積極的な活用につなげる。</p> <p>1人1台端末等の活用事例を収集して学校が取り入れやすくなるよう体系化し、ホームページ(12ページ参照)で公開することにより、優良事例の全県展開につなげる。</p>

令和6年度における取組内容(1)

■ 主な取組

➤ GIGAスクールサポート体制の充実

- GIGAスクール運営支援センターの継続設置や、県立学校の授業等におけるICT利活用とICT環境維持を支援する専門人材を配置
＜実績・効果＞学校や家庭におけるサポート体制の充実による
ICT利活用教育の推進

➤ 教育データ利活用の研究

- 個別最適な学びを実現するCBT(Computer Based Testing: コンピュータを使用した調査)による教育データ利活用の研究
＜実績・効果＞教育データを活用した
個別最適な学びの実現に向けた知見・課題の把握

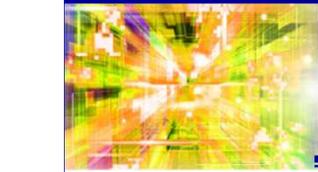
➤ 先端技術を活用した新たな教育モデルの構築

- AI、デジタル教材やセンシング機器等の先端技術などを活用した
新たな学びの実践
＜実績・効果＞AI、デジタル教材による学習を導入した
個別最適で協働的な学びを実践



令和6年度における取組内容(2)

- 令和6年度予算 173,001千円
 - 教育DXハイスクール事業 100,000千円
 - GIGAスクール運営支援センター整備事業 23,902千円他



案件種別

「リーディング」案件として (該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として (該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として (該当あり 該当なし)

参考情報URL等

- 徳島県GIGAスクール構想
 - 徳島県GIGAスクール構想ホームページ

<https://gigaschool.tokushima-ec.ed.jp/>



<主な掲載項目>

- ・徳島県GIGAスクール構想(R2～R4)
- ・徳島県学校教育情報化推進計画(R5～R7)
- ・「とくしままなびのサポート」～家庭学習応援動画
- ・徳島県GIGAスクール実践動画コンテスト
- ・「GIGA・とくしま学び通信」～ICTを活用した授業解説動画
- ・教員のICT活用・指導力向上のための研修動画

デジタルとくしま推進プラン
～とくしま版DXの実現に向けて～

12 デジタル人材育成プロジェクト



プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

人材を育み、誰もが輝く自己実現可能な社会

基本目標(分野)

教育・人材育成

重点戦略

デジタル人材の育成支援

プロジェクトの内容

- ①次世代のデジタル人材の育成や、職業訓練を通じた現場で即戦力となる人材の育成を行う。
- ②外部人材の登用や、サイバーセキュリティに強い人材を育成し、行政組織のDX人材育成を推進する。
- ③デジタル技術を競うコンテスト「デジタルとくしま大賞」を開催し、新たな人材の発掘を行う。(R6廃止)

誰もが安心してデジタル技術を学べる環境の整備

デジタル専門人材の育成

- ・5Gを活用できる人材の育成
- ・AI、IoT、ビッグデータに対応した訓練
- ・DXに対応するデジタル機器を活用した訓練



徳島ならではのDX人材育成

次世代のデジタル人材の育成



小中学生を対象とした
プログラミング教室

- ・プログラミング教室の実施
- ・通信事業者等による先端技術体験を実施
- ・大学生の講師による中高生を対象とした科学技術講座

GIGAスクール構想と連携

行政組織のデジタル人材育成

- ・デジタル技術に関する実務経験を有する人材の活用
- ・民間企業と連携し、高度なサイバー犯罪対処能力を持つ警察官の育成

デジタル技術の習得・能力向上により、
自己表現や自己実現のためのコンテンツ作成が増加

デジタルとくしま大賞の応募件数



R3
75件

R4
85件

R5
95件

R6
事業廃止

実践的なデジタル人材の
育成・発掘

産学官連携による
知のイノベーションの創出

デジタル人材による
徳島のにぎわい創出

主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ KGI : デジタルとくしま大賞※の応募件数/年

担当課:情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	75件	85件	95件	
実績	—	32件	74件	51件	事業廃止

※様々な主体がデジタル技術を競い合うコンテスト R5で廃止

□ CSF-1 : デジタル専門人材の育成

➤ KPI-1 : IoT・ビッグデータ・AIに対応した委託訓練の技能習得者数 ※

担当課:産業人材課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	50人	60人	70人	80人
実績	—	48人	67人	60人	40人

※一定の技能を習得し、訓練実施者から修了証書の交付を受けた者

➤ KPI-2 : DXに対応する「デジタル機器」を活用できる技術習得者数 ※

担当課:産業人材課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	20人	25人	30人	35人
実績	—	18人	19人	29人	31人

※カリキュラムを受講し、習熟度評価試験(学科及び実技)を受けた者

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

- KPI-3 : 中央テクノスクールのローカル5G基地局を活用した訓練による
新規5G技術習得者数 ※

担当課:産業人材課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	8人	8人	8人	8人
実績	—	8人	8人	8人	6人

※カリキュラムを受講し、習熟度評価試験(学科及び実技)を受けた者 (再掲 15 ローカル5Gプロジェクト で詳細説明)

□ CSF-2 : 次世代のデジタル人材育成

- KPI-1 : プログラミング教育出前授業の実施

担当課:e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	20回	40回	15回 ※	15回 ※
実績	—	39回	11回	13回	10回

※教員が自ら授業を行っていることや 他団体でも同種の取組を行っていることから目標値を下方修正した。

(再掲 13 デジタルデバインド対策プロジェクト)

- KPI-2 : デジタル技術に関するキャリア教育出前授業の実施 ※1

担当課:e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	10回	30回	15回 ※2	15回 ※2
実績	—	26回	23回	13回	23回

※1 県内小中高、特別支援学校を対象とした民間企業・団体によるデジタル技術に関する講座や実習

※2 教員が自ら授業を行っていることや他団体でも同種の取組を行っていることから目標値を下方修正した。

主な指標及び工程(3)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

- KPI-3 : 大学生の講師による中高生を対象とした科学技術指導講座
参加者数(累計)※

担当課:生活環境政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	200人	300人	400人	500人
実績	97人	258人	374人	462人	607人

※デジタル技術を活用したSTEAM教育に資する体験型講座

□ CSF-3 : 行政組織のデジタル人材育成

- KPI-1 : デジタル技術に関する実務経験を有する人材の活用

担当課:人事課
情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	必要な人材を把握しながら推進(PDCA)			
実績	—	推進	推進	推進	推進

- KPI-2 : サイバー犯罪対処能力を有する者の育成

担当課:警察本部

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	94.4%	100%	100%	100%
実績	86.9%	94.4%	99.7%	100%	99.9%

課題とアクション

	課題	アクション
1	デジタル技術に関わる機会を増やし、裾野を広げていく必要がある。	科学技術アカデミーとして、県内の中高生に対し、高等教育機関との連携による先端技術をテーマとした体験型の講座などを開催し、実践的な学習の機会を実体験とオンラインとを効果的に組み合わせ提供する。
		産業界が求める最新の技術に対応できる人材育成を図るため、離職者を対象としたIoT・ビッグデータ・AIに関する知識・技能の習得訓練の実施やテクノスクールにおける最新のデジタル機器を活用した訓練を実施することで、再就職やデジタル人材の育成につなげる。
2	高度化するサイバー犯罪に対応するため、警察官の対処能力を高める必要がある。	サイバー犯罪対処能力を有する警察官を育成するとともに、徳島県警察サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザーと連携し、サイバー空間の脅威に迅速かつ適切に対処する。



令和6年度における取組

■ 主な取組

- デジタル専門人材育成に資する職業訓練
 - ・ 中央テクノスクールのローカル5G基地局を活用した訓練
- 次世代のデジタル人材育成に資する講座
 - ・ プログラミング教育や企業によるデジタル技術に関する講座開催

■ 令和6年度予算 5,702千円

- 「科学技術アカデミー」中高生向け実践講座 400千円
- テクノスクール新技術対策事業 5,302千円



案件種別

「リーディング」案件として (該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として (該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として (該当あり 該当無し)



参考情報URL等

- 徳島県立中央テクノスクール

- <https://www.pref.tokushima.lg.jp/techno/chuo/>



- プログラミング出前授業、キャリア教育出前授業

- e-とくしま推進財団HP
<https://www.e-tokushima.or.jp/>



13 デジタルデバイド対策プロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

人材を育み、誰もが
輝く自己実現可
能な社会

基本目標(分野)

デジタル
インクルージョン

重点戦略

インクルーシブな
デジタル社会の実現

プロジェクトの内容

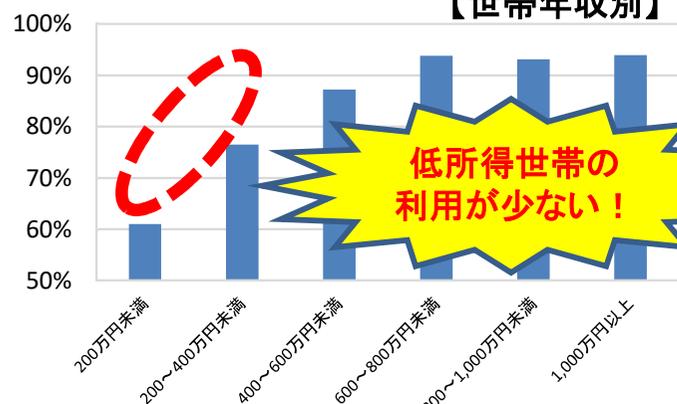
年齢、障がいの有無、性別、国籍等にかかわらず、誰もがデジタル活用の利便性を享受し又は担い手となることができるインクルーシブな社会（誰一人取り残されないデジタル社会）を目指す。このため、高齢者、障がい者及び育児・介護世代等のスキル習得による活躍へのきっかけ作りやデジタル技術に関する学び合いの場づくりを推進する。

インターネット利用状況

【男女・年代別】



【世帯年収別】



出典：令和4年通信利用動向調査（総務省）

● デジタル技術について学べる環境

- 小中学生を対象としたプログラミング教育出前授業
- 県シルバー大学校及び同大学院のICT講座
- 老人クラブによる高齢者のデジタル機器活用支援
- 視覚障がい者を対象とした情報支援機器の操作訓練
- スマホ体験教室や相談会の開催

● 情報による恩恵を享受できる環境

- 県ホームページのウェブアクセシビリティ基準適合レベルAAへの準拠

誰もが
デジタル社会の恩恵を
享受できる社会の
実現



● ネットに接続可能な環境

- 公衆無線LANサービスの提供
- 家庭にインターネット接続環境を整備することが困難と認められる県立学校の児童生徒に対するモバイルルーターの貸与

主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ KGI : インターネット利用率

進捗評価の参考として、通信利用動向調査(総務省)の「都道府県別インターネットの利用状況」集計値を使用する。通信利用動向調査は、世帯(全体・構成員)及び企業を対象として、統計法に基づく政府統計として平成2年から毎年実施されている。令和6年も住民基本台帳から無作為に抽出した世帯の方に、令和6年8月末の通信サービスの利用状況、情報通信関連機器の保有状況等について回答の依頼がなされており、結果は令和7年5月末を目処に発表予定とされている。

担当課:情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	79.0%	80.5%	82.0%	82.0%
実績	77.4%	76.7%	80.6%	81.1%	82.0%(見込)

□ CSF-1 : 誰もがデジタル技術について学べる環境の整備

➤ KPI-1 : プログラミング教育出前授業の実施(再掲)

担当課:e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	20回	40回	15回 ※	15回 ※
実績	—	39回	11回	13回	10回

※教員が自ら授業を行っていることや他団体でも同種の取組を行っていることから目標値を下方修正した。

(再掲 12 デジタル人材育成プロジェクト)

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

- KPI-2 : 県民や財団会員等を対象としたICTに関するセミナーの充実

担当課:e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	3回	4回	5回	5回
実績	2回	4回	4回	6回	3回

※1回当たり参加者数 R2年度90名、R3年度135名、R4年度153名、R5年度106名、R6年度107名

- KPI-3 : 表彰制度の拡大(GIGAスクール構想に関する、優れた取組を行った小中学校に表彰)

担当課:e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	創設	審査委員の意見を踏まえながら 表彰制度の充実を図る(PDCA) →		
実績	—	創設			

- KPI-4 : 視覚障がい者のデジタル機器利用訓練人数(累計)

担当課:障がい福祉課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	500人	745人	990人	1,235人
実績	344人	641人	812人	945人	1,100人(見込)

主な指標及び工程(3)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-5 : 県シルバー大学校大学院ICT資格 取得者数(累計)

シニアITアドバイザー(SITA)3級取得が卒業認定条件

シニアITアドバイザー(SITA)とは、パソコン初心者を指導できるだけの「知識とアドバイス技術」を有することが認定された者(シニアの方を対象とした民間による認定制度)

※ 大学院卒業後は、小学校でのプログラミング授業での講師・補助講師として、また、シルバー大学校ICTコースの講師などとして活動

担当課:長寿いきがい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	1,075人	1,105人	1,145人	1,195人
実績	1,025人	1,066人	1,098人	1,140人	1,183人(見込)

➤ KPI-6 : 老人クラブによる高齢者のデジタル機器(スマートフォン、パソコン)利活用支援のための研修開催

担当課:長寿いきがい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	推進	参加者からの意見を反映させながら推進(PDCA)		
実績	—	推進	推進	推進	推進

※研修開催数 令和3年度24教室、令和4年度63教室、令和5年度34教室、令和6年度22教室(見込)

主な指標及び工程(4)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

- KPI-7 : 「とくしまデジタル支援員」が講師等を務める
高齢者又は障がい者向けスマホ体験教室や相談会の参加者数

「とくしまデジタル支援員」

県内の産学官が連携した「とくしまデジタル人材育成プラットフォーム(事務局e-とくしま推進財団)」において、デジタル技術を活用し、徳島県内におけるデジタルデバイドの解消をはじめ、地域課題解決に意欲と能力があると認められた人材で、「とくしまデジタル人材バンク」に登録された者

担当課: 情報政策課
e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	300人	300人	300人
実績	—	—	536人	600人	561人(見込)

- KPI-8 : 高齢者を対象としたスマートフォンの使い方に関する相談会の開催数

担当課: e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	—	20回	20回
実績	—	—	—	20回	51回(見込)

※参加者数の合計 令和5年度70名、令和6年度75名(見込)

主な指標及び工程(5)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-2 : 誰もが情報による恩恵を享受できる環境の整備

➤ KPI-1 : 県HP全てのスマートフォン、タブレット対応

担当課: 県民ふれあい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	100%	100%	100%
実績	—	62.3%	100%	100%	100%(見込)

➤ KPI-2 : 自動翻訳による県HPの外国語対応 ※

担当課: 県民ふれあい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	100%	100%	100%
実績	—	42.3%	100%	100%	100%(見込)

※ 英語、ドイツ語、中国語(簡体字/繁体字)、韓国語、ベトナム語

➤ KPI-3 : 県HPにおけるウェブアクセシビリティ方針の実践

担当課: 県民ふれあい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	100%	100%	100%
実績	—	52.0%	100%	100%	100%(見込)

➤ KPI-4 : 県HPにおけるウェブアクセシビリティ基準適合レベルAAの準拠

担当課: 県民ふれあい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	準拠	準拠	検査結果を踏まえたサイト改修(PDCA)	
実績	準拠	準拠	準拠	準拠	準拠(見込)

主な指標及び工程(6)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

- KPI-5 : ダイバーシティの観点に立った障がい者や外国人などへの
県HPに関する県民アンケートの実施数

担当課: 県民ふれあい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	2回	2回	2回	2回
実績	0回	2回	2回	2回	2回(見込)

- CSF-3 : 誰もがネットに接続可能な環境の整備

- KPI-1 : 県が整備・補助した無料公衆無線LANアクセスポイント数

担当課: 情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	975箇所	1,000箇所	1,025箇所	1,050箇所
実績	986箇所	1,248箇所	1,292箇所	1,327箇所	1,343箇所

- KPI-2 : ネット環境のない県立高校生世帯に対する貸出用モバイルルーター
整備率(再掲)

担当課: 教育DX推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	100%	100%	100%	100%
実績	—	100%	100%	100%	100%

(再掲11 デジタル技術を活用した学校教育プロジェクト)

課題とアクション

	課題	アクション
1	高齢者にとっては、端末の使い方や新しい機能等に対応するのが難しいといった技術面での課題がある。	高齢者がスマートフォン等の安全安心な利活用について学ぶことができるスマホ体験教室及び相談会を開催する。
2	誰もがデジタル活用の利便性を享受し、又は担い手となることができる誰一人取り残されないデジタル社会の実現が課題となっている。	先端技術セミナー、ビジネスセミナーに加えICTに関するセミナーを充実させる。また、「とくしまデジタル支援員」を育成し、高齢者等のデジタル活用を支援する。
3	GIGAスクール構想により、1人1台端末などハード面の整備が進む中、指導体制やソフト面の充実が課題となっている。	ICTプログラミング教育アドバイザーを小中学校に派遣し、プログラミング教育出前授業を実施する。
4	GIGAスクール構想により整備された設備や端末の有効な活用方法の検討が課題となっている。	GIGAスクール構想に関する優れた取組を行った小中学校を対象とする表彰制度の充実を図る。

令和6年度における取組内容(1)

■ 主な取組

- 「デジタル支援員」を育成、
育成した「デジタル支援員」を活用して
「スマホ体験教室」を開催(e-とくしま推進財団)
携帯ショップがない市町村へ展開
障がい者関連団体と連携して開催
- スマホ相談会の開催
- プログラミング教育出前授業
- シルバー大学校及び同大学院において
ICT講座を開講



スマホ体験教室
(障がい者支援施設)



シルバー大学校

令和6年度における取組内容(2)

■ 主な取組

➤ 「徳島県障がい者ICTサポートセンター」開設(R5.8.6)

障がいのある方々に対する
ICT機器利用の総合的なサービス拠点

■ 令和6年度予算

➤ 障がい者ICT技術活用事業 11,150千円

徳島県障がい者 ICTサポートセンター

Tokushima Information and Communication Technology Support Center
for People with Disabilities



私たちが視覚や聴覚に障がいのある方対象に

Staff Voice



徳島県障がい者 ICTサポートセンター ICT専門員
細川 源輝

当センターではパソコンやスマートフォンなど最新のICT機器を障がいの有無に関わらず使えるようサポートするだけでなく、視覚や聴覚障がい者向けアプリやSNS等についてもご紹介いたします。SNSやメールを使うと、離れている家族や友人との交流、災害時での情報収集、電話が通じない状況でも安否確認が行えることもあります。

また、視覚や聴覚に障がいのある方々にとって便利な最新ICT機器を展示しています。拡大読書機、音声読書機、補聴援助システム、対話支援システムなど、これら支援機器の用途、使用方法が知りたい方は、徳島県立障がい者交流プラザで実際に体験してみてください。購入手段や日常生活用具給付制度の申請方法などもご説明します。その他にもICTサポーターの養成や派遣、出張ICT機器体験会の開催などを行います。

障がいのある方々へのICT機器の支援は今後より重要になると考えます。私たちのサポートによって障がいのある方々が社会と更に繋がり、より自立した生活が送れるよう、一生懸命努めてまいります。

—Staff Voice

こんなお悩みやご質問のある方は、お気軽にご相談ください。

- 視覚に障がいがあってもパソコンやスマホは使えるの？
- パソコンを買ったけれど、使い方がわからない
- どんなソフトを買ったらいいの？ 買ったソフトの入れ方は？
- 購入方法は？ 公的補助はあるの？
- 家族とメールやLINEでやりとりしたい
- 聴覚に障がいのある人のためのアプリにはどんなものがあるの？
- 聞こえにくい人のための補聴システムにはどんな機器があるの？
- 機器の体験や貸出はできるの？

この他、センターでは、視覚や聴覚に障がいのある方向けの各種研修会を実施します。また、パソコンやスマホ等のグループ研修会などにICTサポーターを派遣し、操作の支援をします。

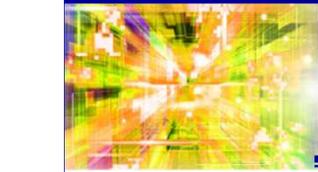
パソコンやスマホなどの利用を支援します！

パソコンやスマホなどの使い方を覚えて、欲しい情報やニュースをいち早く手に入れ、生活や活動の幅を広げてみませんか。

〒770-0005 徳島市南矢三町2丁目1-59 視覚障がい者支援センターH1P
徳島県立障がい者交流プラザ 視覚障がい者支援センター内
開館時間：午前9時から午後5時まで
休 館 日：木曜日 年末年始(12/29から1/3)

お問い合わせ先 電話 088-631-1400 FAX 088-631-1500
Eメール toku_ict@kouryu-plaza.jp





案件種別

「リーディング」案件として

(該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

参考情報URL等

- 通信利用動向調査

- 総務省HP

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>



- とくしまデジタル人材バンク

- (公財)e-とくしま推進財団HP

https://www.e-tokushima.or.jp/human_resources_bank/



- 徳島県障がい者ICTサポートセンター

- 徳島県HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kenko/shogaifukushi/7218956/>



14 Society5.0実装プロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

安全安心な暮らし
をしなやかに守り
抜く社会

全ての人に優しく、
スマートで持続可
能な社会

新たな価値が創造
され、豊かさを実
感できる社会

人材を育み、誰も
が輝く自己実現可
能な社会

基本目標(分野)

防災力の向上・着
実なインフラ整備

モビリティの向上

観光誘客による地
域経済の活性化

教育・人材育成

重点戦略

インフラ管理・建設現場に
おけるデジタル技術の活用
推進

利用しやすい交通インフラ
の構築

デジタル技術を活用した、魅力
発信とにぎわいづくり/
「eスポーツ」による、にぎわい
と交流機会の創出

デジタル人材の育成支援

プロジェクトの内容

- ① 5G、IoT、ロボット、ドローン等の未来技術を積極的に導入して地域に浸透させ、人口減少や高齢化が進む地域の課題解決を図る。
- ② ICTを活用して建設生産システムにおける生産性向上を図る「i-Construction」の普及や施設・設備点検におけるIoT・AI等の革新技術の導入など、インフラ分野におけるデジタル技術の活用を推進する。
- ③ バスの時刻表や路線情報のオープンデータ化、IoTを活用した効率的な配車システムの実装など、持続可能な地域公共交通ネットワークを構築する。
- ④ 優れたデジタルコンテンツの表彰・利活用や、職員による動画制作、eスポーツイベントの開催等を通じて、デジタル技術を活用した情報発信・観光コンテンツの充実を図るとともに、ホームページやSNS、動画サイト等の媒体を活用して徳島の魅力を広く世界に発信する。

①地域への未来技術の浸透

- 5G、ローカル5Gを活用した遠隔医療、スマート農業、河川監視カメラの整備等
- 産学官連携組織「とくしまIoT等推進ネットワーク」、データ基盤「とくしまIoTプラットフォーム」を活用した効果的なデータの利活用や新たなソリューションの創出
- ものづくり分野における未来技術活用製品等開発支援
- 介護ロボットの導入支援
- 防災、建設等様々な分野におけるドローンの活用



5Gを活用した遠隔医療

②インフラ分野におけるデジタル技術の活用

- i-Constructionの普及促進
- インフラのメンテナンス等におけるIoT、AI等の革新技術の導入
- ダム・発電所等における点検困難箇所へのドローン活用
- IoT等導入による電気事業施設のスマート化
- 橋梁・トンネル定期点検におけるUAV・AIの活用



ICT活用工事



ドローンを活用したダム設備点検

③持続可能な地域公共交通ネットワーク構築

- バス情報のオープンデータ化
- デマンド交通をはじめとする「新たな公共交通システム」の構築

阿波市デマンド型乗合交通
あわめぐり

目印として
「阿波市デマンド型乗合交通 あわめぐり」と
書いたステッカーを車体に貼っています。



「阿波市デマンド型乗合交通ご利用ガイド」より

④情報発信・観光コンテンツの充実

- デジタルとくしま大賞応募作品の利活用
- 徳島県南部の魅力を伝える動画を職員が制作し、YouTubeのチャンネルで配信
- 徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」の「コンテンツ」の充実
- eスポーツイベントの開催
- 「在にし阿波外国人」によるSNS等を活用した情報発信



YouTubeチャンネル
「みぎアゲTV」

主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

本プロジェクトにおける「未来技術」
5G、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット(ドローン含む)、VR/AR等の技術

◆ K G I : 未来技術の活用事例数 (累計)

担当課:情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	68件	99件	70件 ※	89件 ※
実績	39件	80件	115件	105件	127件

※KPI-4 : とくしまIoTプラットフォーム 活用事例数が令和4年度で終了したため目標値を変更

□ CSF-1 : 地域への未来技術の浸透

➤ KPI-1 : 5G活用事例数(累計)(ローカル5Gを含む)

担当課:情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	6件	9件	12件	15件
実績	3件	7件	11件	14件	17件

➤ KPI-2 : 5Gを活用した遠隔医療の推進

担当課:病院局経営改革課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	関係者の意見を反映しながら推進(PDCA)			
実績	整備	推進	推進	推進	推進

(再掲 16 ローカル5Gプロジェクトにて解説)

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

- KPI-3 : アグリサイエンスゾーンにおけるローカル5Gを活用したスマート農業の推進 ※再掲

担当課: 経営推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	推進	関係者の意見を反映しながら推進(PDCA)		
実績	—	推進	推進	推進	推進 令和7年3月終了

(再掲 10 スマート農林水産業プロジェクト)

- 終了 ➤ KPI-4 : とくしまIoTプラットフォーム活用事例数(累計) ※

担当課: 情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	40件	50件	—	—
実績	30件	41件	45件	令和5年6月終了	

※「とくしまIoTプラットフォーム」は、平成30年から5年間運営し、県内のIoT活性化という目的を達したこと、民間の同種サービスが充実したことに伴い、令和5年6月に終了した。

(再掲 15 データ利活用推進プロジェクト)

- KPI-5 : とくしまIoT等推進ネットワーク会員数(累計)

担当課: 情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	90	100	115	120
実績	83	100	110	111	111

主な指標及び工程(3)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-6 : ドローン活用等事例数(累計)(新規活用事業計画数)

担当課:移住交流室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	5件	10件	15件	20件
実績	— 一件	9件	17件 ※	30件 ※	36件

➤ KPI-7 : ものづくり分野における未来技術活用製品等開発支援件数(累計)

担当課:産業創生・大学連携課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	4件	8件	12件	16件
実績	— 1件	6件	11件	19件	21件

➤ KPI-8 : 介護ロボット導入支援 ※

担当課:長寿いきがい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—			推進	
実績	36事業所	33事業所	40事業所	0事業所	43事業所 →

※令和5年度分については、全額令和6年度に繰越して実施

※対象となる介護ロボット(例):「移乗介護」(装着型パワーアシスト)、「移動支援」(歩行アシストカート)、「排泄支援」(自動排せつ処理装置)、「見守り・コミュニケーション」(見守りセンサー)、「入浴支援」(浴槽設置型入浴支援機器)及び「介護業務支援」において利用される介護ロボット

主な指標及び工程(4)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-2 : インフラ分野におけるデジタル技術の活用

➤ KPI-1 : i-Constructionに基づいた県発注工事実施率 ※

担当課:建設管理課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	55%	60%	65%	70%
実績	45%	57%	61%	68%	70%(見込)

※対象となる工事(分母):土工、舗装工及び地盤改良工のうち、一定規模以上の工事

➤ KPI-2 : IoT・AI等の革新技术を導入したインフラ分野数(累計) ※

担当課:県土整備政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	9	12	推進	推進
実績	6	10	12	推進	推進

※橋梁、トンネル、舗装、道路法面、河川、ダム、海岸、砂防、港湾、公園、下水道、住宅
(参考)これらの施設は、「県・公共施設等総合管理計画」に県土の管理施設として位置付

主な指標及び工程(5)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

- KPI-3 : ダム・発電所等における点検困難箇所へのドローン活用件数(累計)

担当課:企業局事業推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	2件	5件	8件	9件
実績	2件	6件	9件	12件	16件

※うち水中ドローン
3件

※うち水中ドローン
5件

※うち水中ドローン
7件

※うち水中ドローン
10件

- KPI-4 : IoT等導入による電気事業施設のスマート化施設数(累計)

担当課:企業局事業推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	1	2	3	4
実績	—	1	3	4	4

- KPI-5 : 橋梁・トンネル定期点検におけるUAV(ドローン)・AIの活用件数(累計)

担当課:道路整備課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	10	15	20	25
実績	3	10	19	28	33

主な指標及び工程(6)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-3 : 持続可能な地域公共交通ネットワーク構築

➤ KPI-1 : バス情報のオープンデータ化 ※

担当課:交通政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—		実装		
実績	推進	実装	—	—	—

※令和3年度:市町村・公共交通事業者と連携し、県下全域でコミュニティバスを含む路線バスの情報をオープンデータ(GTFS-JP)化

➤ KPI-2 : 「新たな公共交通システム」の構築 ※

担当課:交通政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	推進	市町村のニーズを把握しながら支援(PDCA)		
実績	実装	推進	—	推進 ※1※2	—

※1 阿波市デマンド型乗合交通「あわめぐり」:インターネット予約に対応(R5.4.1)

※2 徳島市AIデマンドバス「のるーと徳島市」:実証運行を実施(R6.1.10~R7.3.31)

(決まった時刻表や運行ルートがなくAIが予約状況に合わせて運行ルートを設定する乗合バス)

主な指標及び工程(7)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-4 : デジタル技術を活用した情報発信、観光コンテンツの充実

- KPI-1 : オンラインやSNS等を活用し、にし阿波の情報を発信した延べ外国人人数 ※

担当課: 西部総合県民局地域創生観光部

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	15,000人	17,000人	17,000人	17,000人
実績	14,000人	23,309人	34,407人	29,217人	17,000人

※特に反響の大きい発信情報について、

- ①YouTubeチャンネル(46%) ②Facebook投稿記事(46%) ③にし阿波HP(英仏繁)(8%)

↳ 視聴回数が多かったのは、

- ①「米旅行雑誌記者が案内する四国徳島の秘境祖谷とその他の地域＊」26%
- ②「奥祖谷二重かずら橋」10%
- ③「加茂の大クス」7%

※URL及びQRコードについては、P21:参考情報URL等(3)を参照

- KPI-2 : 観光情報サイト総アクセス件数 ※

担当課: 観光政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	580万件	600万件	600万件	600万件
実績	529万件	583万件	856万件	565万件	450万件

※徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」

URL及びQRコードについては、P21:参考情報URL等(3)を参照

主な指標及び工程(8)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

➤ KPI-3 : 「eスポーツイベント(オンライン大会含む)」開催回数

担当課: 交流創造室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	2回以上	4回以上	10回以上	10回以上
実績	2回	3回	16回	19回	18回

終了 ➤ KPI-4 : ICT(愛して)とくしま大賞及びデジタルとくしま大賞 応募作品の利活用件数(累計)※

担当課: 情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	140件	160件	180件	事業廃止
実績	124件	152件	171件	193件	

※R2年度までの「ICT(愛して)とくしま大賞」をリニューアルし、R3年度からは「デジタルとくしま大賞」を実施
協賛企業・団体数の推移 : R2:6団体 → R3:7団体 → R4:9団体 → R5:8団体

➤ KPI-5 : Youtubeチャンネル「みぎアゲTV」の総再生回数※

担当課: 南部総合県民局地域創生防災部

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	15万回	30万回	30万回	30万回
実績	8.8万回	19.7万回	23.2万回	27.5万回	33万回

※「みぎアゲTV」は、徳島県職員が体当たりでロケに挑み、県南の魅力を発信していくYouTubeチャンネル
URL及びQRコードについては、P21:参考情報URL等(3)を参照

課題とアクション

	課題	アクション
1	医師の偏在や地域住民、医師の移動負担の軽減などの課題解決	県立病院における地域医療のモデルケースとなる5Gを活用した遠隔医療の実施
2	電気事業施設における点検業務の効率化・災害対応力の強化	ドローンやWebカメラ等を活用し、電気事業施設の点検業務のスマート化を推進
3	建設業の働き方改革の実現と人材確保	i-Constructionの導入による建設現場の生産性向上

令和6年度における取組内容(1)

■ 主な取組

➤ 遠隔医療基盤の整備

- 中央病院及び県立海部病院では、一部区画に整備済みのローカル5G環境を救急外来に拡大
- 阿南医療センターでは、新たに病院間を繋ぐWi-Fi6E機器を導入
- 鳴門市消防本部では、救急車に4Kカメラや通信機器を設置し、先行する阿南・海部の各消防とともに、車内を映した高精細映像や、患者の心電図等データを病院と共有できる環境を構築

➤ とくしまDX推進センター(とくしま産業振興機構内)によるサポート機能の強化

- DX導入の核となる人材を育成する研修を実施
- DX推進センターのホームページからDX実現に必要な情報発信の充実
- 「DX推進コーディネーター」による円滑なDX導入の推進
- デジタルツール導入前の現場環境や周辺システム整備を支援

➤ 産業DX推進セミナーの開催

- 企業内におけるDXの効果的な進め方や県内企業の取組を紹介

令和6年度における取組内容(2)

■ 主な取組

- 「スマートものづくり技術」の研究開発
 - ・ 「5G」や「AI」などデジタル技術を活用した研究開発の推進
- 介護ロボット導入支援
 - ・ 介護保険施設・事業所への介護ロボット導入費用の補助
 - ・ 「とくしま介護現場DXサポートセンター」によるセミナーの開催、相談対応、有識者派遣、試用貸出による普及啓発
- ダム・発電所等における点検困難箇所へのドローン活用
 - ・ ダム、発電施設等の調査や点検に活用
- デジタルスタジオの活用
 - ・ 「eスポーツ」イベントの実施
 - ・ YouTube配信講座等の実施
- 民間主体のeスポーツイベント開催への支援

令和6年度における取組内容(3)

■ 主な取組

- 「在にし阿波外国人材」を活用した情報発信
 - にし阿波の外国人材を活用し、Facebook、Instagram、YouTubeで国内外の外国人に向けたにし阿波の情報を外国人目線で発信
 - 海外の旅行会社やメディアを対象としたWEB商談会への出展
- 観光情報提供システム維持管理費
 - 徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」の保守管理
- YouTubeチャンネル「みぎアゲTV」による情報発信
 - 県南ならではの魅力を県職員が動画で配信
- 海外に向け、県南の魅力をFacebook、Instagramにより英語で紹介

令和6年度における取組内容(4)

■ 令和6年度予算 339,515千円

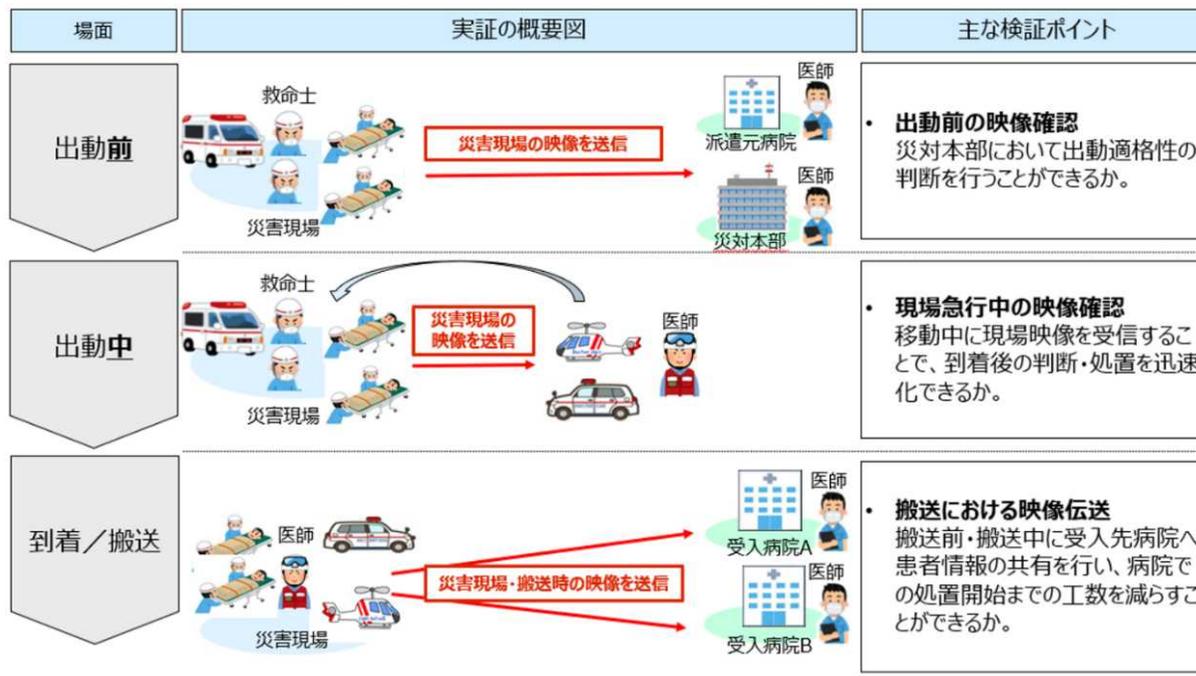
- **ものづくり企業DX加速化事業** 8,500千円
(産業創生・大学連携課)
- **DXステップアップ推進事業** 2,000千円
(産業創生・大学連携課)
- **介護ロボット導入支援事業** 160,000千円
(長寿いきがい課)
- **観光情報提供システム維持管理費** 7,000千円
(観光政策課)
- **青少年センター管理運営事業** 162,015千円
(青少年・こども家庭課)

令和6年度における取組内容(参考1)

R6.5 総務省「地域デジタル基盤活用推進事業」に「災害時医療DX」に係る事業が採択

【概要】

災害時にドクターヘリ・ドクターカーの出動先を適切に選択し、効果的に運用するためには、被災地の状況を正確に把握することが重要である。被災地の映像を病院及びドクターヘリ・ドクターカーに伝送することで、出動先の判断を迅速に行うことができるか、また、移動中も現場の救急救命士と連携することで、切れ目のない処置や到着後のトリアージの迅速化に繋げることができるかを検証した。



実証の概要及び検証ポイント



令和6年度における取組内容(参考2)

■ 産業DX推進セミナー

日時 令和6年11月7日(木)
午後1時30分～

場所 アスティとくしま
1階 第2会議室

内容

第1部 講演会

講師:I-OTA合同会社 代表社員 國廣愛彦

第2部 県内企業による事例発表

株式会社姫野組

株式会社ヨコタコーポレーション

西精工株式会社

参加者数 62名

産業DX推進セミナー
主催:徳島県、公益財団法人とくしま産業振興機構

自社だけの取組に限界を感じていませんか?
企業間連携とDXで切り拓く中小企業の未来
令和6年 **11/7 [THU]**
13:30-15:45
(13:00 受付開始)

受講無料

対象 経営者 DX推進担当者など
場所 アスティとくしま 1階 第2会議室 徳島ビジネスチャレンジメッセ2024会場内
定員 70名

第1部 講演会 13:30-14:35

優れた技術やサービスを有する中小企業は数多くありますが、1社だけで提供できるものは限られていて、顧客のワンストップニーズに応えたくても応えられない状態です。
このような状況に一石を投じる取組を進めているのが、東京都大田区の町工場が連携し、新たなビジネスモデルを創出したI-OTA合同会社。
そのプロジェクト型共同事業体は、「仲間まわし」という伝統文化をデジタル化し、企業間連携を進めてビジネスチャンスを広げています。同社では、ITを活用した「プラットフォーム」というクラウドサービスを導入することにより、発注者と町工場のスムーズなマッチングを実現し、全国の中小製造業者との連携も強化するなど、ビジネスチャンスを拡大しています。
企業間連携の大事さや大変さ、その目的への歩みを加速するためのデジタル化などについて、I-OTA合同会社代表社員の國廣氏に語っていただきます。
企業間連携は、ものづくり企業だけでなく中小企業全体の未来を拓く可能性を持っています。是非ご参加ください。

講師 I-OTA 合同会社 代表社員 國廣愛彦氏
大手アパレルメーカーの営業経験後、米國での専門商社勤務を経て、2009年電子制御機構の設計から製造までを手掛ける株式会社フルハートジャパンの代表取締役社に就任。大田区の特長である町工場の連携を通して、地域の活性化を図るプロジェクトがきっかけで、特化したモノづくり技術を有する企業が集積する大田区で、連携し、包括的なモノづくりサービスを継続的に提供するためには、自社だけでなく、仲間と連携して仕事をすることで、そのサービスの質が向上するとの思いから、I-OTA 合同会社の立ち上げに関わり、現在代表社員を務めている。

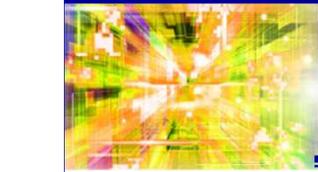
第2部 県内企業による事例発表 14:45-15:45

DX推進に取組む県内中小企業3社から事例発表をしていただきます。業種を問わず、DX推進への参考となる部分がありますので、是非ご参加ください。

株式会社姫野組
ICT技術を活用した施工やリモートによる現場業務サポートの推進について

株式会社ヨコタコーポレーション
港産業株式会社
ユーザー側(ヨコタコーポレーション)及びベンダー側(港産業)のそれぞれから、協働ロボットの導入による自動化について

西精工株式会社
AIを活用したシステム導入への道筋と今後の展開について



案件種別

「リーディング」案件として

(該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

参考情報URL等(1)

- 医療分野

- 5Gを活用した遠隔医療の実装について

<https://tph.pref.tokushima.lg.jp/businessMeetingAgreement/qualityUp/utilization5G/>



- 5Gを活用した県立中央病院－海部病院間における遠隔医療実証実験

<https://tph.pref.tokushima.lg.jp/businessMeetingAgreement/qualityUp/utilization5G/utilization5G1/>



- 実証実験及び「5G遠隔医療支援システム」の整備について

<https://tph.pref.tokushima.lg.jp/businessMeetingAgreement/qualityUp/utilization5G/7204422/>



参考情報URL等(2)

- ドローンの利活用の推進
 - 無人航空機(ドローン・ラジコン機等)の飛行ルールと各種手続きについて(徳島県HP)
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kurashi/chihososei/7207199/>
- とくしまDX推進センター
 - とくしまDX推進センターHP
<https://www.our-think.or.jp/dx/>
- 「スマートものづくり技術」の共同研究開発
 - ものづくりDX共同研究事業
https://www.itc.pref.tokushima.jp/02_research/02current_R05.shtm
- 介護ロボット導入費用の補助
 - 介護ロボットポータルサイト
<https://robotcare.jp/jp/home/index>
- とくしま介護現場DXサポートセンター
 - 介護ロボットに関する相談窓口
<https://www.kenshokai.group/tokushima-dxcenter/>



参考情報URL等(3)

- にし阿波の情報発信

- にし阿波 剣山・吉野川観光圏(YouTube)

<https://www.youtube.com/channel/UCJzbrdYM6GN8mn0Jd4Peexw>

- ～Hidden Japan Iya-Valley and other Wonders Tokushima , Shikoku(YouTube)
(米旅行雑誌記者が案内する四国徳島の秘境祖谷とその他の地域)

<https://www.youtube.com/watch?v=eZmWIPXZM0g>

- にし阿波HP(英・仏・繁中対応)

<https://nishi-awa.jp/>

- にし阿波観光圏(Facebook)

<https://www.facebook.com/go50th/>

- 徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」

- 徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」HP

<https://www.awanavi.jp/>

- YouTubeチャンネル「みぎアゲTV」

- 【徳島県公式】みぎアゲTV(YouTube)

https://www.youtube.com/channel/UCMLvpZq4kdIn_tTydkc3mLQ



15 データ利活用推進プロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

全ての人に優しく、
スマートで持続可
能な社会

基本目標(分野)

利便性の高い行政
サービスの実施

モビリティの向上

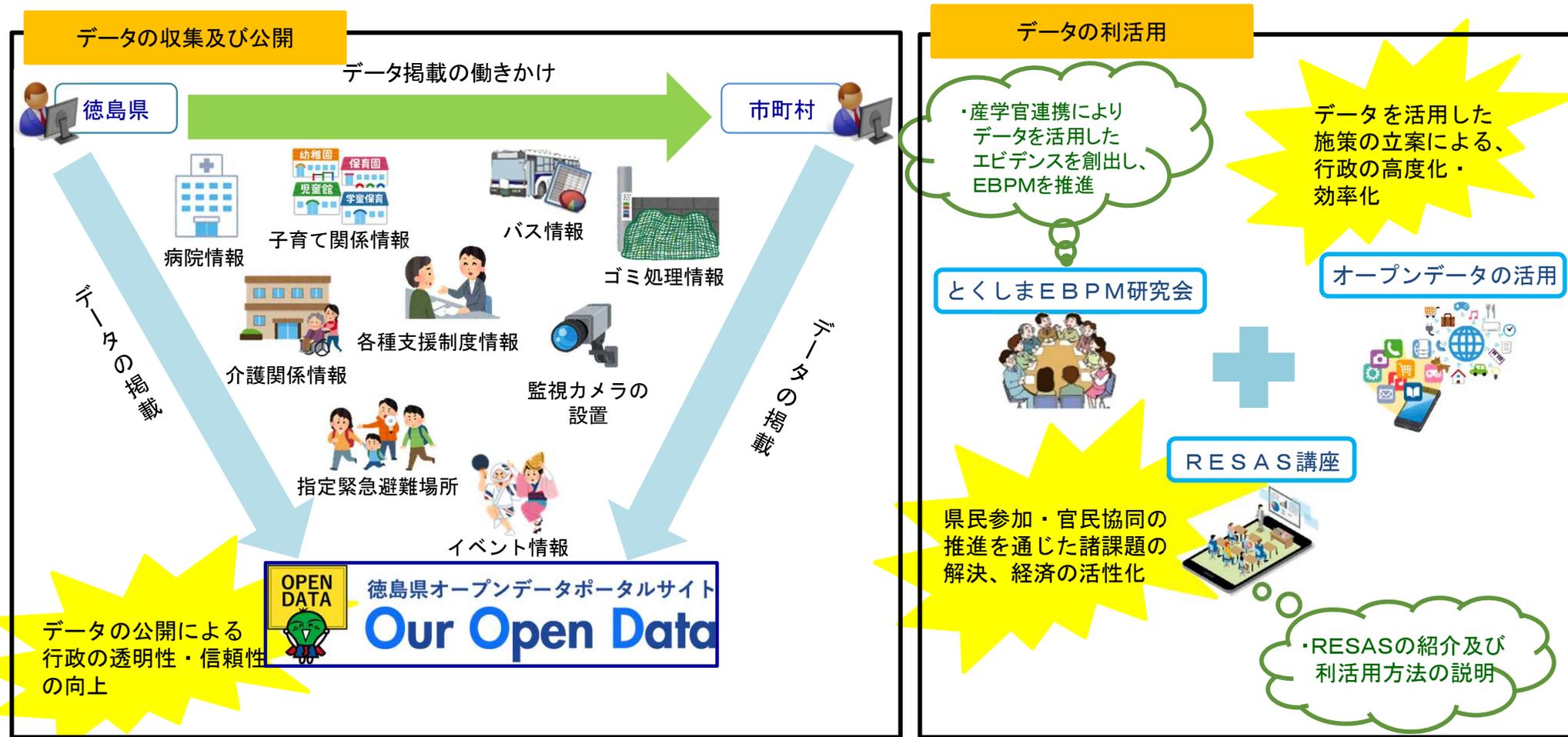
重点戦略

デジタル技術を活用した、
行政サービスの向上

利用しやすい交通インフラ
の構築

プロジェクトの内容

- ① 各事業を推進していくことにより、オープンデータとして公開可能なデータを蓄積する。
- ② 各課や市町村に働きかけ、オープンデータの掲載やデータの利活用を促進する。
- ③ とくしまEBPM研究会におけるエビデンスの創出やRESAS講座の開催により、データの利活用方法の習得や、EBPM (Evidence-based Policy Making) を推進する。



主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ KGI : オープンデータ数 (累計)

担当課: 情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	1,500件	1600件	1800件	1,900件
実績	1,425件	1,566件	1,758件	1,932件	2,050件(見込)

※徳島県オープンデータポータルサイトにおける公開中のデータ数

□ CSF-1 : 各分野におけるデータの収集

➤ KPI-1 : 河川監視カメラ整備箇所数(累計) ※再掲

担当課: 河川整備課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	18箇所	28箇所	28箇所	28箇所
実績	—	18箇所	28箇所	28箇所	28箇所

※ YouTubeで一般公開中

(再掲 1 災害情報の共有推進プロジェクト)

➤ KPI-2 : 道路監視カメラ整備箇所数(累計) ※再掲

担当課: 道路整備課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	9箇所	16箇所	16箇所	16箇所
実績	—	8箇所	10箇所	10箇所	12箇所

※令和6年度は、河川管理者や通信管理者との協議に時間を要したため、目標に達しなかったが、令和7年度に工事をを行い、4箇所以上設置し、目標を達成する見込

(再掲 1 災害情報の共有推進プロジェクト)

主な指標及び工程(2)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

終了 ➤ KPI-3 : とくしまIoTプラットフォーム活用事例数(累計) ※再掲

担当課: 情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	40	50	—	—
実績	30	41	45	令和5年6月終了	

※「とくしまIoTプラットフォーム」は、平成30年から5年間運営し、県内のIoT活性化という目的を達したこと、民間の同種サービスが充実したことに伴い、令和5年6月に終了した。

(再掲 14 society5.0実装プロジェクト)

➤ KPI-4 : バス情報のオープンデータ化 ※再掲

担当課: 交通政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	実装			
実績	推進	実装	—	—	—

※令和3年度: 市町村・公共交通事業者と連携し、県下全域でコミュニティバスを含む路線バスの情報をオープンデータ(GTFS-JP)化

(再掲 14 society5.0実装プロジェクト)

主な指標及び工程(3)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-2 : EBPMの推進

➤ KPI-1 : とくしまEBPM研究会によるエビデンス提供数(累計)

担当課:情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	12	24	36	48
実績	—	7	22	33	45(見込)

※令和4年度は累計として目標には達しなかったが、年間目標である12を超えるエビデンスを提供した。

※令和6年度は累計として目標には達しなかったが、年間目標である12のエビデンスを提供する見込である。

➤ KPI-2 : 中高生・大学生向けRESAS講座の開催数/年

担当課:政策企画課

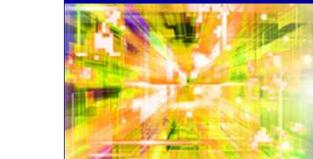
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	10	10	10	10
実績	7	3	6	7	3(見込)

※内閣府主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト」への応募促進と併せて、周知を図ったが目標を下回った。

開催した団体から好評をいただいていることから、R6年度以降も引き続き、出前講座の周知を図っていく。

課題とアクション

	課題	アクション
1	オープンデータの取組が定着していない。	各課及び市町村に対し、オープンデータの掲載及び管理・更新について働きかけを行う。
2	政策の有効性を高めるため、EBPMを推進する。	各課及び市町村に対しエビデンスを提供するとともに、研修や研究会への参加について働きかけを行う。



令和6年度における取組内容

■ 主な取組

- オープンデータ
 - ・ 庁内及び市町村にデータの掲載について働きかける。
- EBPMの推進
 - ・ とくしまEBPM研究会の開催
- RESAS講座の開催
 - ・ 国とも連携し、高校生や大学生に対して「RESAS講座」を開催

■ 令和6年度予算 2,545千円

- | | |
|----------------|---------|
| ➤ 加工統計調査費 | 1,045千円 |
| ➤ 分析実践EBPM推進事業 | 1,500千円 |



案件種別

「リーディング」案件として (該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として (該当あり 該当なし)

- 県と地元企業が共同で開発したオープンデータポータルサイトのシステムをOSSとして全国へ展開し、埼玉県や神戸市など他の11の自治体において導入実績がある。

「ナンバーワン」案件として (該当あり 該当無し)

参考情報URL等

- 徳島県オープンデータポータルサイト
「Our Open Data」

- <https://opendata.pref.tokushima.lg.jp/>



徳島県オープンデータポータルサイト

Our Open Data



- 鳴門・大塚スポーツパークHP

- <https://www.awa-spo.net/naruto/>



16 ローカル5Gプロジェクト

プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

安全安心な暮らし
をしなやかに守り
抜く社会

全ての人に優しく、
スマートで持続可
能な社会

新たな価値が創造
され、豊かさを実
感できる社会

人材を育み、誰も
が輝く自己実現可
能な社会

基本目標(分野)

医療・福祉体制の
充実

利便性の高い行政
サービスの実施

魅力ある農林水産
業の実現

教育・人材育成

重点戦略

誰もが安心して利用できる、
医療・福祉サービスの提供

豊かな暮らしにつながる行
政のデジタル化

スマート農林水産業の推進

デジタル人材の育成支援

プロジェクトの内容

- ① 様々な地域課題の解決のため、ローカル5G基地局の整備・拡充を図る。
- ② 5Gネットワークの地域格差や、急増するネットワーク・トラフィックへの対応として、県域ローカル5G高速ネットワーク網を構築する。

2020年春
大手携帯キャリアによる
5G商用サービス開始

5Gの普及は、収益性の高い
都市部で先行し、地方は
後回しになることが懸念

5Gは地方にとって必須の
情報通信インフラであり、
早期展開が必要

ローカル5Gの
利活用を推進

県が先行して取り組み、市町村への横展開を推進

全国に先駆けてローカル5G環境を構築！

全国屈指の光ブロードバンド環境を最大限活用！

様々な分野での利活用



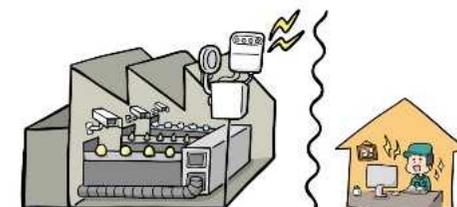
○最先端の遠隔医療・遠隔診断
医療情報共有の通信基盤に
よる県内チーム医療の推進！



○防災情報をタイムリーに発信
ドローンや河川監視カメラによる
高精細な4K動画をリアルタイム
伝送し、迅速かつ適確な災害対応！



○5Gで農業高度化・自動化支援
スマート農業技術の実証・発信！



○企業の5G環境構築を支援
中央テクノスクール・工業技術
センターに5G環境を構築・
企業向け研修実施！

地域課題解決を促進し、地方創生を実現！

地方における5Gモデルを徳島から世界に発信！

主な指標及び工程(1)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

◆ K G I : ローカル5Gの活用事例数(累積)

担当課:情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	6	9	12	15
実績	2	7	11	14	17

(商工分野)(CFS-2:KPI-1)

- ・中央テクノスクール:エンジニア育成拠点を実装(人材育成)
- ・工業技術センター:ローカル5Gオープンラボ実装(企業のスマートファクトリー化支援等)

(農林水産分野)(CFS-1:KPI-2)

- ・農林水産総合技術支援センター:5G実証フィールド(遠隔指導等)

(防災分野)

- ・那賀川,海部川:ローカル5G河川監視 ・総合防災訓練におけるドローン4K映像伝送実証

(医療分野)(CFS-1:KPI-3)

- ・県立海部病院-中央病院間:5G遠隔診療の実証実験 ・5G遠隔診療室の開設・本格運用
- ・県立三好病院-中央病院間:8K遠隔医療の実証事業 ・徳島赤十字病院-救急車間:患者データ連携の実証
- ・徳島赤十字病院-海部病院間:スマートフォンアプリによる医師間連携・遠隔支援の実証
- ・徳島大学病院-中央病院間:電波混信対策及び患者の遠隔モニタリングの実証
- ・病院-救急車間のデータ連携中の割り込み救急搬送依頼と画面切替の実証
- ・二次救急病院-三次救急病院間の搬送患者遠隔コンサルテーションの実証
- ・県立中央病院-海部病院間:遠隔入院サポートの開始(R6年度)
- ・令和6年度総合防災訓練における5Gを活用した遠隔医療訓練の実施(R6年度)
- ・災害現場と救急病院及びドクターヘリ・ドクターカーのリアルタイム映像伝送の実証(R6年度)

(その他)

- ・県庁万代庁舎:ローカル5Gインフラシェアリングの実装

主な指標及び工程(3)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

□ CSF-1 : ローカル5G環境の整備

➤ KPI-1 : 県域ローカル5G高速ネットワーク網の構築

担当課:情報政策課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—		構築・運用		
実績	—	構築	運用	運用	運用

■ 県主要拠点間の10Gbps閉域網を構築

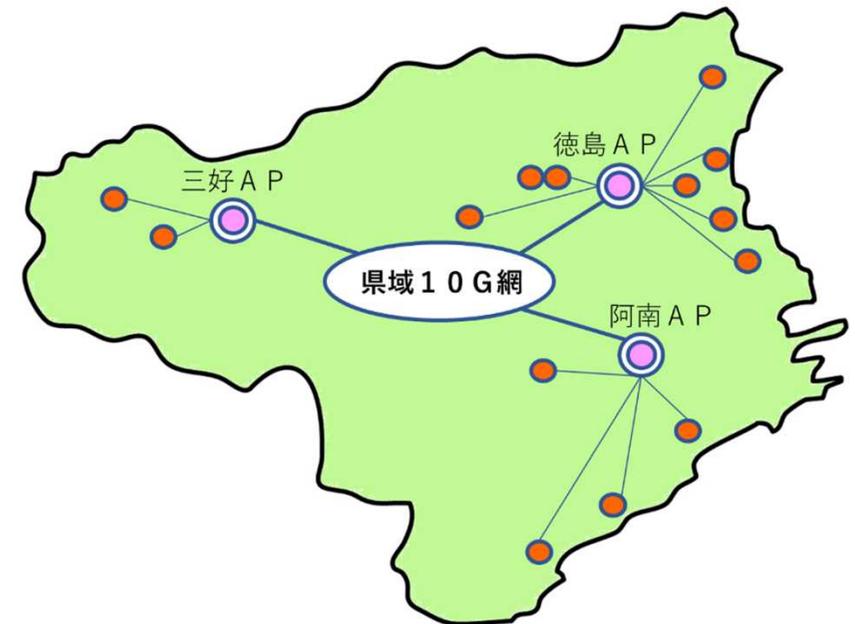
ローカル5Gの特性(超高速・低遅延・多接続)を
発揮するには、従来回線は通信速度が不十分

⇒輻輳に強い専用回線である10Gbps網の整備により
ローカル5Gに必要な通信基盤が整った。

■ 東部、西部、南部にアクセスポイントを設置

各地のネットワーク事業者への回線提供により
県域全体の回線高速化を図る。

⇒県内15の公的・公立病院で構成する「徳島医療
コンソーシアム」へのローカル5G展開を進める等、
場所を選ばない(僻地等)環境整備に活用していく。



専用回線により、14箇所のローカル5G
基地局を整備・接続済

主な指標及び工程(4)

※実績値はR7.2.28時点(見込)

- KPI-2 : アグリサイエンスゾーンにおけるローカル5Gを活用したスマート農業の推進

担当課:経営推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標 実績	— —	推進 推進	関係者の意見を反映しながら推進(PDCA)		
			推進	推進	推進 令和7年3月終了

(再掲 10 スマート農林水産業プロジェクト)

- KPI-3 : 5Gを活用した遠隔医療の推進

担当課:病院局経営改革課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標 実績	— 整備	関係者の意見を反映しながら推進(PDCA)			
		推進	推進	推進	推進

(再掲 14 Society5.0実装プロジェクト)

- CSF-2 : ローカル5G技術者の人材育成

- KPI-1 : 中央テクノスクールのローカル5G基地局を活用した訓練による5G技術習得者数

担当課:産業人材課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	8人	8人	8人	8人
実績	—	8人	8人	8人	6人

(再掲 12 デジタル人材育成プロジェクト)

課題とアクション

	課題	アクション
1	5Gネットワークの地域格差	ローカル5G基地局の整備・拡充
2	急増するネットワーク・トラフィックへの対応	県内ネットワークの高速化を図る。

令和6年度における取組内容

■ 主な取組

➤ 災害時医療DXに係る実証

- 5Gネットワークを活用し、災害現場と救急病院及びドクターヘリ・ドクターカーの間でリアルタイム映像伝送を行う実証を実施

➤ 農業分野におけるローカル5Gの活用実証

- AIの画像解析により、害虫(コナジラミ類)の発生予測システムの開発等を推進

➤ ローカル5G技術者の人材育成

- 「無線」「電気」「通信」の技術・資格の習得に向けた育成カリキュラム導入により、「5Gインフラ」整備や「VR」技術に対応できる人材を育成

■ 令和6年度予算 176,830千円

- ローカル5Gプロジェクト加速事業 166,330千円
- 生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業推進事業 10,500千円

令和6年度における取組内容(参考1)

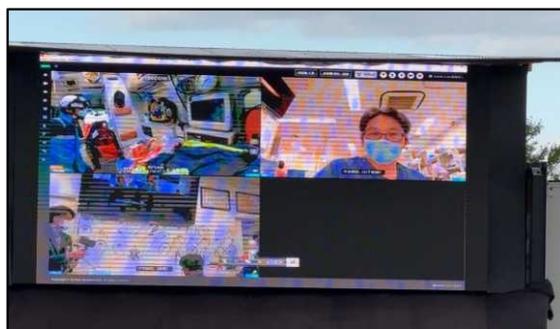
◆ 医療分野における活用事例について

- 中央病院と海部病院の間で、5G設備を活用した遠隔入院サポートを開始した。



海部病院を受診し、中央病院の入院が決まった患者について、入院サポート面談(入院の概要説明や服薬状況等の確認)のため、患者は入院前に長時間かけて中央病院に来院する必要があったところ、患者の負担軽減のため、5G設備を活用したリモートでの面談を開始した。

- 令和6年度総合防災訓練において、5Gを活用した遠隔医療訓練を実施した。



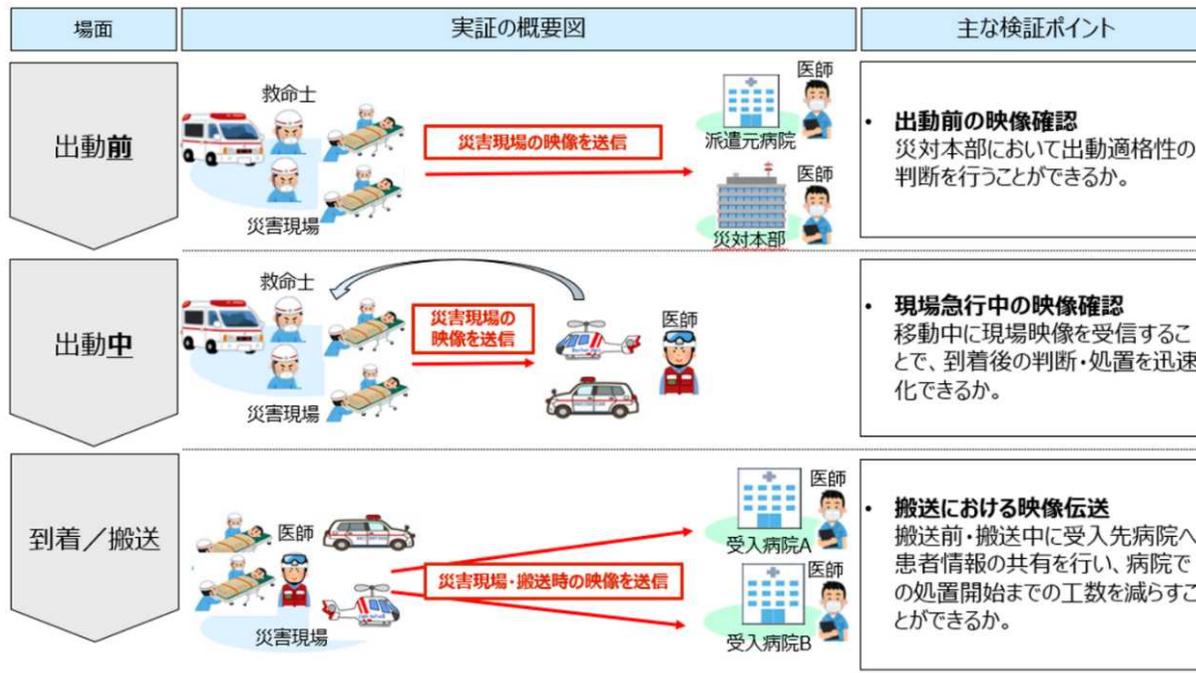
救急救命士が身に着けたカメラにより被災患者の映像を中央病院に伝送し、医師から処置や搬送先の指示を受けて対応する訓練を実施した。

令和6年度における取組内容(参考2)

◆ 医療分野における活用事例について

総務省実証事業により実施

- 災害発生時を想定し、被災地の映像を病院及びドクターヘリ・ドクターカーに伝送することで、出勤先の判断を迅速に行うことができるか、また、移動中も現場の救急救命士と連携することで切れ目のない処置やトリアージの迅速化に繋がるかを検証する実証を実施した。



実証の概要及び検証ポイント



災害現場、ドクターヘリ、救急病院間で映像伝送し、医師間で処置や搬送先を相談



災害現場、ドクターカー、救急病院間で映像伝送し、現場到着後に速やかにトリアージを開始



案件種別

「リーディング」案件として 該当あり 該当なし

- 自治体初の予備免許を取得し、ローカル5G環境を構築するとともに、課題解決の処方箋となる「徳島モデル」を構築、展開することにより、地方創生を推進

「オンリーワン」案件として 該当あり 該当なし

「ナンバーワン」案件として 該当あり 該当なし

参考情報URL等

- 徳島県の5G取組

- 徳島5G革命(YouTube)

<https://youtu.be/m9XQfL2x1Ow>



- 医療分野

- 5Gを活用した遠隔医療

<https://tph.pref.tokushima.lg.jp/businessMeetingAgreement/qualityUp/utilization5G/>



<https://tph.pref.tokushima.lg.jp/businessMeetingAgreement/qualityUp/utilization5G/utilization5G1/>



<https://tph.pref.tokushima.lg.jp/businessMeetingAgreement/qualityUp/utilization5G/7204422/>



- 防災分野

- 徳島県河川監視カメラ配信中(YouTube)

https://www.youtube.com/channel/UCXJ_ME7jWCW7CgrzKUqsD8g



- 人材育成分野

- 徳島県立中央テクノスクール(YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=p8fn6UEPgHw>

